(第二版)(號外)(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十二年十二月二十一日

臺灣日日新報 夕刊

十二月二十一日
夕刊定價一部二錢

政局は現狀維持 擧國一致に邁進

首相信念を披瀝せん

【東京二十一日發同盟】今次事變の最高目的達成に完璧を期し長期抗戰に備へて對支膺懲の聖戰に徹底的效果を收めんとする我國不動の體制は大本營の設置に依つて一層强固を加へるに至り皇軍の神速果敢なる進擊と相俟つて東洋平和の確立を目差す歷史的偉業はその終局に向つて漸く第二段の展開を示さんとし之とともに政府の動向並に時局收拾の方針は內外の視聽を集める所となつた、即ち政府に於ては當初大本營の設置を機會に內閣制度を改正し戰時に則應した强力政治を行ふべしとの議論もあつたが近衞首相としては內閣の一致結束こそ內閣を最も强力たらしめるものであるとの信念に基き參議制度の活用と相俟つて擧國一致體制の强化、國論の統一に向つて一路邁進すべく二十二日の閣議並に參議會の席上近衞首相よりこの信念を披瀝し閣僚、參議の一致結束を要望することとなつた(寫眞は近衞首相)

長期戰鬪に備へて 戰時豫算を編成

總額二十八億七千萬圓程度 大藏省で查定開始

【東京二十一日發同盟】大藏省では十一月以來明年度各省豫算要求の査定に着手し漸く查定を進めてゐたが若干未定の部分を殘して查定原案を作成するを得たので二十日より愈々陸海軍省に關係閣僚、內務、社會、保健、商工、各省の關係部局で要求額について夫々の事務當局と折衝を開始した、而して明年度豫算査定については各省との折衝の關係で最終確定するには至らないが各省の要求總額約三十八億圓に對して二十八億七千萬圓程度に查定し得る見透しを得るに至つた、即ち明年度豫算は本年度の當初成立豫算の程度に查定し得た譯であつて右查定方針は支那事變が明年度一杯繼續するものと假定し飽く迄長期戰爭の體制に即したものである

豫算查定大綱

【東京二十一日發同盟】大藏省の明年度豫算查定の大綱左の如し

一、長期戰に備へて戰時體制に基く豫算編成を行つたこと

一、一般的な經費はこれを節約繰延したこと

一、戰後の經營施設に關する經費は一切計上せず萬一明年度內に平時狀態に復した場合は臨時議會を開き追加豫算として計上すること

一、明年度の一般軍事費については既定計畫の遂行に遺憾なきを期したこと

一、各省の一般的經費については既定經費と雖もこれを極力節約繰延したること

一、軍事費以外の經費については左の經費に重點を置いて計上したこと

1 技術員(機械、化學、工業、電氣、礦山等)の養成に關する經費

2 資源調査費

3 勞力調整(職業紹介其他)に關する經費

4 貿易振興に關する經費

5 滿洲移民に關する經費

一、明年度一般豫算の財源については經常歲入及び公債に仰ぎ增稅は臨時軍事費特別會計豫算の查定に當つて研究すること

戰爭は之からだ

長谷川長官は語る

【旗艦出雲にて同盟特派員二十日發】上海戰局は今や本格的第二期戰に入つたが二十日午後三時長谷川第三艦隊司令長官は旗艦「出雲」の長官室で記者團と會見、大要左の如く語つた

問 上海の跡始末に關する方策如何

長官 日本は政府問題については考へてゐない、又今そんな事を考へる時期でない、勿論東洋平和のために上海を如何にしなければならないかと云ふ帝國の根本原則は決定してゐよう、吾々武人が兎角云ふ必要はないことだ

問 今後の作戰如何

長官 作戰に關することは云へぬ上海戰局と云つても全國の大きな戰局から引出して考へることは間違ひで海軍としては更に一層陸軍の作戰に緊密な協力をなし戰果の擴張に邁進する

問 事變の發展に關する見透し如何

長官 戰ひはこれからだ、支那は飽く迄も長期抗戰で抵抗してゐる、吾々は中途半端で止める譯には行かぬ、支那がその非を悟らざる限り戰爭は續くと考へなければならぬ、戰は寧ろスタートしたばかりだ、東洋平和の基礎を固めるために起つたのだ、徹底的に抗日容共の支那をして反省させねばならないのだ

第三艦隊の手で 航行を遮斷

二十日午後六時以降

【上海二十日發同盟】艦隊報道部午後六時發表

九月五日第一艦隊司令長官吉田善吾及び同日第三艦隊司令長官長谷川淸の宣言した中華民國沿海に對する同國公私船舶の交通遮斷は十一月二十日午後六時以降本官の指揮下に屬する海軍力を以て之を行ふ

十二月二十日

支那方面艦隊司令長官

海軍中將 長谷川淸

南京は廢墟

人通りは殆ど絕えて 軍警、物々しい

【上海二十日發同盟】確實なる消息に依ると非戰鬪員の撤退を完了した今朝來の南京は殆んど人通りなく警戒の軍警の姿が物々しく、市街要所要所を嚴重に固め前線より後送された將兵の擔架の縱列が長蛇の列をなしてゐる、嘉興方面より輸送された負傷兵はこの二日間に六千名に達したと云はる

佐藤、高橋兩部隊 猛進!虞山占領

敵兵は對岸に遁走

【常熟二十日發同盟】佐藤、高橋の兩部隊及び永津部隊虞山占領に依り常熟を中心とし附近一帶に蟠踞の敵兵は陸に據る退路を斷たれ十九日午後三時湖上に用意された數百隻の戎克に依り對岸の金家店、蔣巷方面に遁走した

ハンブルグに 國策機關生る

日滿獨 貿易振興を目的に

【新京二十日發本社特電】滿獨通商關係は兩国政治、經濟の兩方面にかける好良增展開の機運により近時著しく其の友好關係を深めつつあるが、今回獨逸ハンブルグに滿洲貿易振興會が設立せられ、滿獨經濟提携の中核的結合素材たる滿洲大豆の積極的獨逸輸入を促進し、以て日、滿、獨貿易の改善發達及び其の共同利益の增進に資する事となり、强力なる国際的機關の創立をみるに至り、十月二十五日ハンブルグに於て滿洲貿易振興會第一回會合を開き茲に日滿獨合作の貿易振興を目的とする强力なる国策機關の誕生をみるに至つた

川崎部隊猛進

瀾溪塘大運河渡河

【嘉興二十日發同盟】十九日夕刻泥濘を衝いて嘉興西方の双板橋を急襲難なくこれを陷れた川崎部隊は更に猛烈進擊を續け二十日早曉〇〇〇の線に進出前方に横たはる瀾溪塘大運河(嘉興、杭州を繫ぐ運河)を隔して抵抗した敵も橋本〇〇部隊の猛擊に一溜りもなく潰走し川崎部隊の先頭は既に運河を渡つて急進しつつある

敵船四隻を擊滅

【常熟二十日發同盟】中島部隊の一部は二十日虞山の中腹地點に砲列を布き尙湖方面に潰走する敵兵を砲擊中、午前十一時頃今しも湖岸を離れて遁走せんとする大砲積載の敵船四隻を發見、忽ち三隻を擊沈殘る一隻は砲兵が山を馳け降り敵兵を殲滅大砲諸共捕獲した

常熟で劇的握手

(常熟二十日發同盟)白茆口上陸部隊の一部は二十日午前七時常熟西門より入城し續いて東北より追擊し來つた〇〇部隊は北門より入城し來り同じく南門より進擊し來つた〇〇部隊と城內中央にて相會し劇的な握手を交はした

國府は支離滅裂

南京死守など空宣傳

【ニューヨーク二十日發本社特電】U、P通信員南京特電によれば米國大使館は二十日午後支那政府から重慶へ遷都する旨の正式通告を受けたがジョンソン大使はまだ引揚げの日を決定してゐない、併し大使館員數名は既に重要書類を持つて砲艦ルソン號に乘込み列國の大使館も來是市に全部引揚げる模樣である、尙支那側では最後まで南京を死守するに決した模樣だが外人筋では政府機關を各地に分散させて如何にして政府の實權を維持し得るやを危んでをり支那政府は支離滅裂に陷るのではないかと見てゐる

支那、遷都を宣言

(上海二十日發同盟)國民政府は重慶遷都宣言を二十日正午內外に向つて正式に發表と同時に南京を死守して屈辱的講和には應じて屈せざる旨を明かにした、尙發表とともに在南京外交團は一齊に漢口に移轉を開始した

壯絕!巨彈の雨

無錫、蘇州の上空で 海の荒鷲群が亂舞

【上海二十日發同盟】海軍航空隊今村部隊の〇〇機は二十日午前十時密雲を衝いて三日振りに無錫、蘇州に飛び巨彈の雨を降らした、この日雨未だ霽れやらぬ蘇州、無錫の上空は海の荒鷲群の亂舞に蔽はれ雨中に壯烈な爆擊戰が展開された

福山に陸戰隊上陸

【上海廿一日發同盟】揚子江上にあつて陸上部隊と協力中の〇〇艦隊海軍陸戰隊は二十日福山に上陸を敢行、吳福陣地の最北端福山を占領し軍艦旗を掲げた

日伊の友好を更に深めたい

國民使節大倉男が 羅馬で聲明書發表

【ローマ十九日發本社特電】國民使節大倉喜七郎男一行は十九日午後六時ローマに到着、左の如き聲明書を發表した

日本國民は今回私をイタリー國民とその結合の表徵であり且つイタリーの指導者であるムツソリー二首相の下に送つた、その目的は我が國民の好意を傳達し併せて將來の友好を祈るに外ならない、最近の日本は支那事變に關する海外の誤解を一掃する爲め數ケ國に對して國民使節を送つた、私もその一人に數へられるが使命は決して同じものではない、なぜならば貴國政府とその國民とは既に日本の立場を理解されてをり說明を申述べる必要がないからである、其處で私の使命は我が國民の斯かる理解を如何に感謝してゐるかと言ふことを說明し、更に相互の理解を深め不動不拔の點にまで進めたいと言ふ希望を表明することに歸着するものと諒解してゐる、兩國は天然の資源乏しく所謂持たざる國の二代表國となつてゐる、從つて同一環境の下には大體同じやうな狀態が認められると言ふ自然の法則から考へても兩國民の生活內容、國民經濟政策に關し類似性が生れ、それが自然兩國民の感情を接近させる作用を演ずるのである、感情の接近が同情の交渉と理解の結成とを生ずることは言ふまでもない、唯兩國民は異なる半球に住んでゐる爲め右類似性を国策上に感ずることが稀であつたが、最近に至り世界不安の增大と國際關係の密接化によつて我然兩大國の眞摯な協定がとげられるやうになつた、從つて相距たる千里の遠方から固い握手が交されるに至つたのは主として前述の國民感情の結合が見えざる基礎をなしてゐるものと確信される、又この基礎なくしては如何なる外交條約も決して永續性を持たず、又その效果も期待に反する場合が多いのである、この意味から私は最近の日、獨伊防共協定に多大の期待を有すると同時に兩國の關係を一そう强化する爲めに國民的相互理解の一層深さを加へることを希望して已まないのである

臺灣のパルプ工業 益々旺盛に

森岡總務長官談

【東京二十日發本社支局特電】森岡長官は入京以來各省要路その他に上京の挨拶を爲しつつあつたが二十日首府出張所で大要左の如く語つた

支那事變は益々戰果を收め北支方面に對しては日本資本の進出を爲し得る狀況となつたが是が爲め臺灣の使命とする南支南洋方面に對する進出政策を閑却するやうな事はないかと云ふものもあるが、右はその土地柄が全然異つて居り南方の仕事は南方でなくてはならぬ爲になるから北支あるが爲め從來の南進國策を阻害するやうな事は決してないと思ふ、臺灣產業のパルプ原料としてバガス供給不足を憂慮されて居たが固より我々としても隨分の手段を講ずる着であるばかりでなく臺灣のパルプ工業は是より益々旺盛ならんとする形勢にあり、現在の燃料バガスは他の燃料に變更さるべき情勢で、寧ろ臺灣興業會社のバガス不足問題の如きは決して憂慮すべきものでないと思ふ、臺拓の安藤副社長は遂に辭任したがその後任は補充を爲さずその儘にしたい心算だ

平和への協力

獨外相 英樞相 會談の內容

【ベルリン二十日發本社特電】ノイラート外相ハリファックス英樞相との會談に付ては何等の發表なく外紙の報道は單なる臆測に過ぎないが二十日D、N、B通信社は情報の形式で信頼すべき方面からの報道として會談の內容を左の如く傳へてゐる

ドイツの平和への協力を力說した後國際政局の不安及び紛爭の原因に付き意見を交換し更にドイツ外交の基調たる方能なる紀國內に於ける二國間の諒解運動に付き說明を行ひ、次いで獨外相はベルリンローマ樞軸、日獨伊三國防共協定の基調こそドイツ外交不動の方針なりと說明

併しドイツ及びその友邦との間には何等の對立も紛爭發生の原因もなき現實を明かにした、最後に兩者は從來兩國間で屢々和平の形態で試み成功した建設的平和政策を履行する必要ありとの點で意見一致した

張總理故國へ

【神戶二十日發同盟】新日本使節としての重任を恙なく終へた滿洲國張國務總理一行十一名は二十日午前八時新大阪ホテルを出發、神戶より日滿連絡船扶桑丸で一路故國へ向つた

陳支那代表が 伊首相を訪問

【ローマ十九日發同盟】支那前實業部長陳公博は去る十二日ローマ到着以來チアノ外相を始めイタリー政界の有力者と會見して支那側の立場を說明してゐたが、十九日午後六時ヴエネチア宮にムツソリーニ首相を訪問、種々懇談を遂げた、會談の內容は發表されないが入閣するに右會見の際、陳公博は本國より携行した蔣介石のメツセージをムツソリーニ首相に手交したと

綿糸及棉花の 最高標準價格

【東京二十日發同盟】商工省發表の綿絲及び棉花の最高標準價格は左の如く決定した

◇綿糸 金巾綿二十番手一梱二百二十五円 受渡月、昭和十三年一月及び二月 規格、ユーヨーク定期二月限大引仙七九、一〇ポイント同時に一梱につき二円五十錢

◇棉花 ストリクト、ミドリング八分の七吋ステープル一担四十八円二十五錢 受渡月、昭和十三年一月及び二月 規格、ニユーヨーク定期二月限大引仙七九、五ポイント同時に一担につき二十五錢

新政權承認

波、ユー兩國が

【サンセバスチアン二十一日發同盟】スペイン反政府派はポーランドとユーゴー兩國は近くフランコ政權を承認すると決した旨正式に發表した

府辭令

(二十日)

府技師 八田與一

殖產局勤務課務を命ず

人事

▲飯島秋氏(拓務事務官、前岡山郡守)二十一日發の蓬萊丸にて上京赴任

▲河井治氏(森永ミルク重役)二十一日米臺(日之丸旅館)

▲木下辯太郎氏(朝鮮總督局勤務課長)廿一日臺北、即日內地へ

▲西村良次氏(大阪商船營業課長)二十一日內地へ

▲福住但氏 二十一日南部より臺北へ 二十一日內地へ

その日その日

〇官市に大本營、日本歷史に大書され後世に殘る一大事實だ、"時局重大"の感、一段と切實

〇行政府も、勢ひシヤンとしなくてはならぬ破目だ、近衞內閣に取つても"實力試練"の一關

〇上海派遣軍並に帝國海軍に對し優渥なる勅語を賜はる、將兵感激の大あらしは、中支一帶の海陸を擁はん

〇上海の共同租界や佛租界に、抗日陣を蹈る餘地なからしめる我方の處置、近來トテモ痛快な一手

〇蘇州を席卷して皇軍忽ち無錫に迫る、あとは常州、丹陽、句容を經て一路南京へ

は二つに分れ、一つは揚子江岸の江陰へ、他は京滬線に沿つて常州を經て丹陽に至る▲丹陽から鐵道線路に沿つて右へ進めば揚子江岸の鎭江要塞地帶に達し鐵道沿いに南京に向ふが、更に丹陽より左に折れて山地の路を進むと句容に達する▲この句容は陸の方面に於て首都南京を防禦する最も重要な陣地で、若し之が陷落すれば最早や南京を持ち堪へる事は出來ぬといふ句容陷落と共に南京陷落の期が出てゐる位だ、現に句容あたりから南京は百里內外、天下分け目の大關原とさへ考へられてゐる、此處からは南京まで一路である

〇君が愼しい〇〇部隊の勇戰よ、武勲よ、これから目指す南京まで先陣争ひの形ち

〇これでもまだ負けたと言ふ、敵の遺棄死體だけでも十五万、死傷は六十万乃至八十万と推定される―何とまア

〇だから自慢には誰え向き、不足だといふのか、大事な軍器が自分の手足を日一日もぎ取つてゐるの

〇三十番と、勤務と有ゆる不便の中に、海上遮斷に當つてゐる將兵の上にも…忘れないで

無絃琴

★"十一月中には南京まで"などいふ氣早の觀測もあつたが、果して然う急速に戰果を收め得るや否、今後の實際に徵する外ない、嘗て前司令部の所在地とされてゐた蘇州が殘及の如く特攻兵隊だけの手で一番乘りが出來たら、支那兵が軍服を脫ぎ良民と支那兵との見分けさへ付かぬといふ程に依然から判斷すると、支那兵は殆ど手後れを失つて後退、後退の一途を辿つてゐるやうだから、此調子では案外早く目指す南京の攻略が出來るかも知れない▲皇軍は蘇州を落して更に京滬線に沿ひ無錫へ猛進を續けてゐるらしいが、無錫から江陰

浮標のごとき女

(144)

尾崎士郞作 梁川剛一畫

悲しき人々(十三)

樺嗣はひとりで二階の踊場にある洋室のソファーにもたれかかつてゐた。次第に苛立たしくなつてくる氣持をぐつとおさへながら、ひと風呂浴びてかへつてきたところなのである。

そこへ、扉をノックする音が聞えて、火の高い雅樹が二重子の身を前へ押しやるやうにして半身を覗のぞかせた。

「どうも」

と、彼は二重子の方をふりかへつて、さつきとは打つて變つたやうな物柔らかな態度で話かけた。

「大へんな御災難でしたな―」

彼にどうと縋りつてきたのである。

「そんなことを仰言らないでくださいわ―仲間が勝手なことをいつていつてしまふんですもの」

「そんな言ひわけが通るかい」

樺嗣の顏が剛力のやうにとがつて見えた。

「僕もさつきまではさう考へてゐたんだがね―いくら言つてもわからないからつて子供ぢやあるまいし、道を間違つたと思つたらすぐあとへ引つ返せばいいぢやないか」

「どうして、そんな風におかくなるのかしら―あたし、ほんとに困つてしまつたのよ」

それから、樺嗣の方を向いて、

「御心配なすつたでせう」

にやにやと笑つてから「いづれ」といひ殘してバタンと扉をしめた。樺嗣は立つてゐる二重子の顏をちらつと眺めただけで、すぐ新聞に眼を落した。

「どうなすつたんですの?」

椅子の背をおさへた二重子の指先がわなわなと顫へてゐる。

「―さつき電話をおかけしたの、なんですか」

落ちつきのない尖つた聲でさう言つたとき、樺嗣が、はじめて憎々しげな眼をあげた。

「どうだつて、何がどうなんだい?」

「だつて―ゐるところをハツキリ申上げたらやありませんか?」

「だから迎ひにやつたんぢやないか」

「―そりやあさうだけど、あたし助けていただいた方に申譯のないことをしてしまつたのよ」

「まア、いいさ、それよりも、お前は桑田のアパートをよく知つてゐたね―おれにはそいつがどうしてもわからないんだが、君の所でそんな約束でもしたの五い?」

「そんなことを―」

それきり後は口をつぐんでしまつた。

「僕だつてどんなに心配したか知れないよ、しかし、今となると、どうしても君の氣もちがわからないんだ、今日の間違ひは間違ひとしていいことにして置かう、しかし、この問題はどう考へてもこれだけで濟まうわけにはゆかうもないな」

「どういふ意味?」

二重子もだんだん落ちついた氣もちになつて、椅子にょりかかつた。

「だからさ―君の態度の中にどうにも納得が出來ないやうなあやふやなものがあると思ふんだがね、むろん、僕も故意に君が方面から逸れて行つたなぞと考へやしないよ」

「ぢやあ、何なの?」

「何なのつて―そいつを君の口からハツキリ言つてもらひたいんだ、僕もなるべく君に都合のいいやうに考へよう努力してゐたんだが、こんどだけは君の氣もちをつかむことができないんだ―そりやあ、困台によつちやあ桑田君の手前、君が救はれるといふ事實が生ずるかも知れないが、それにしたつて、あれから君、何時間經つてゐると思ふ?」

樺嗣の顏がみるみるうちに歪んで

大元帥陛下には玉體御健かに亙らせらる
軍務始め萬機を御親裁

【東京廿一日發同盟】東亞永遠の平和の為擧國一致の聖戰に當つてゐる秋畏くも大元帥陛下には最高の統帥部として宮中に大本營を設置あらせられた、事變勃發以來五月餘皇軍の下奮闘將兵の士氣は東亞の天地を蔽ひ國威は中外に輝やいてゐるが畏くも大元帥陛下には事變以來宮中に在して日夜政務を始め万機を御親裁に御精勵あらせ給ふに拘らず玉體愈々御健かに亙らせられ日々より戰況奏上等を聽はすことゝ暇々と承はる、御日常朝は都下各新聞を始め内外の新聞記事を御取寄せ遊ばされ日日の戰況ニュースを始め内外の動向に關して御一覽あらせられて後御政務所に出御あり山積された戰況奏上、御裁可書類等を御親覧、又閑院參謀總長宮殿下、伏見軍令部總長宮殿下、近衞首相、陸海軍大臣等に戰況に關しては晝夜の別なく刻々の奏上あり、侍從武官府からの戰況奏上は殊更に及ぶことも屢々あるがその都度地圖を擴げさせられて一つ一つ詳しく御下問あり細かな御下問もあらせられると承はる、每週の御日程は水曜日の樞府本會議に親臨あらせられる外は御進講御茶の會等は事變以來總て御止せられ一時は御運動さへも御取止め遊ばされたが最近では玉體を御案じ申上る側近者より奏請に依り月に二、三度の御乘馬を遊ばすと承はる、每日の御身の廻り等も極めて御質素に渉らせられる由であるがこれも皇軍の勞苦を深く思召され民草の上を深く思召される聖慮と拜察するも畏き極みで、殊に觀菊會は明治節賀宴を御取止めあらせられたが皇太子殿下の御誕生の御儀式の式も御延期になり既に御期に入り例年行はせられる各國使臣、國務大臣を始め文武顯官達御陪食の思召に依る御陪食も今冬は御取止め遊ばされるが、今年は霜深き戰線に親しく將兵と勞苦を俱にし給ふ大御心にて駒を進めさせられ或は波濤万里の洋上に綿國を續へさせ給ひ畏くも將兵と勞苦を俱にし給ふ大演習は御取止めになりこの機會に民草が目の當り御英姿を拜することは出來なかつたが今や夫れにも增して國家非常時に際會し最高統帥のため大本營を設置させられ帷幄の務更に一層御多端を加へさせられたることを拜察するだに恐懼の極みである

大本營の帷幄廟議に東溜間を御使用
幕僚控室も隣接し設備

【東京二十一日發本社特電】大本營を宮中に設置あらせられた大元帥陛下には閑院、伏見兩幕僚長の宮殿下を初め陸海軍大臣以下關係官を宮中に召され帷幄廟議を開かせ給ふことも屢々あらせられる御由にて同會議は支障なき限り主として東溜間を御使用の御豫定と承はる、此御殿は東御車寄の近く、樞密院會議が開かれる御間であるが御苑に面した西側は全部硝子戸で豪壯な天井の下壁や襖は雅な模様が描かれ、床は寄木張である、御前會議の際はシャンデリアの下正面中央の玉座を中心にして要員の議席がU字形に設けられると漏れ承はる、尚小食堂西側三階大隣守衞隊の隣接間二室が大本營海軍部のため設備される豫定で幕僚以下の控室となる

河北省濮陽で
民衆遂に暴動を起す
蔣及び軍閥への怨から

【石家莊二十日發同盟】當地に入つた情報に依れば河北省濮陽（大名南方黄河北方）地方に於ては最近多數の民衆が暴動を起し殺人、傷害、掠奪等の不穩事件續出しつゝあると言はる、同地方は從來宋哲元軍の勢力範圍に在り多年苛斂誅求に苦しめられて來たが今次事變の發生以來殊に一般民衆の疲弊は極度に達し蔣介石政權及び軍閥に對する怨嗟の聲囂々たるものがあり今や全く宋哲元の威令行はれざるに至つて敗殘兵の不滿と合流し遂に蜂起したものと見らる

嘉定に入城

一、嘉定城頭高く日章旗翻り萬歳を叫ぶ〇〇部隊　二、嘉定入城の皇軍市街の殘敵掃蕩（十五日）　三、クリークを渡つて大倉に進擊する〇〇部隊　四、上陸の皇軍〇〇へ向け進擊（陸軍省檢閲濟）

支那政府系の銀行は閉店
佛租界へ移る

【上海二十日發同盟】共同租界內に在る支那政府側機關の抗日政治活動撲滅に關する我方の決意の意外に强硬なのに驚き中央、中國、交通、農民の政府系四行はフランス租界に移轉し今や共同租界內には政府系四銀行の開店せるものなし

場合によつては實力を行使し接收
租界內の支那電信局

【上海二十日發本社特電】租界內の支那電信局は從來外國電報を取扱ふに際し常に日本軍の行動を妨害するが如き措置に出でゐた為め軍は豫てより之に對し非常に激昂してゐたが二十日原田武官の工部局當局に對する要望並に岡本總領事の租界當局に對する申入によつても尚租界當局が日本軍の滿足する處置を講じなかつた場合には結局近き將來に於て我方は斷固實力行使によつて之が接收を行ふも已むなきに至るのではないかと見られてゐる、特に長崎上海間の我が海底電線は抗日機關の指令を受けた之等分子の手により切斷されこの重大時期に於て通信が停頓してゐる現場にあるので軍としては作戰上已むなく有效適切なる處置を執らざるを得ぬものとされてゐる又從來武裝せる軍隊の租界內通行に關しては日本軍が今日まで作戰上非常な不便を忍んできて自制し來つたことに付き寧ろ内外共に奇異の目を以て見て來た程であるから、今や南市の占領もなり上海も完全に包圍された現状に於て戰勝國たる日本が作戰上の目的の為め租界內居住民に危害を與へざる範圍內で軍事上の目的から租界を通行することは寧ろ當然のことと言ふべきで恐らく之も近く實現するものと見らる

支那側電報檢閲官姿を消す

【上海二十一日發同盟】我軍當局及び總領事側の强硬態度を見て支那側は二十日午後一時を期し大北電信大東電信等の外人所有各電信會社及び交通部上海電報局に派遣してあつた電報檢閲官の出動を停止する旨發表し、二十日午後より過去四ケ月に亙り非道極まる抗日宣傳工作の中樞を為してゐた支那側檢閲官は姿を消すこととなり各電報會社は二十日より一齊にローマ字電報取扱ひを開始した

明朗なスポーツ青年
江藤少尉常熟附近で戰死

高橋部隊附屬の江藤英雄少尉（二八）は十一月十日常熟附近の戰闘に於て壯烈なる戰死を遂げた事が二十日原隊に入電があつた同君の遺族は台北市御成町五ノ七には江藤末記氏とイサさん（五〇）の兩親と弟妹二人が留守を守つてゐる、同君は末記氏の長男で台北工業學校を大正十五年に卒業、出征前まで中央研究所工業部に勤務してゐたもので所內でも質實剛健な性格で非常に評判が良かつた、同君の知人の語る處に依れば

江藤君は明朗な青年でした、スポーツが好きで庭球、野球何んでも來いと云ふ譯で万能スポーツ・マンと私達は云つてゐました、其他寫眞術も仲々うまく玄人跣足の處がありました、山登りも好きで臺灣の山岳は殆んど跋渉し盡してゐた様です、何にしても同君のあの戰闘的精神が戰場で遺憾なく發揮されて勇ましく戰つた事だと思ひます【寫眞は江藤少尉】

全臺灣珠算競技大會
午前中の成績

全臺灣珠算競技大會は二十一日午前九時半より台灣商工學校講堂に於て開催、參加選手百八十名うち十數名の若き女性も混り競技は先づオープン競技中讀上敗退競技より開始された、午前中の成績左の通り

▲讀上敗退競技 一等牧瀬秩芳（日鐵）、二等鄭重仁（商工）、三等陳潤川、四等顔德琛（日鐵）、同張上銘（臺銀）、同洪彬柱（新竹臺銀）、同陳讃成（商工）、同兆根旺（臺灣信用組）、同陳英俊（商工）、同郭復騎（商工）
▲除法競技 一等山崎正光（三井）、二等郭復騎（商工）、三等顔德琛（日鐵）、四等松崎政好（日鐵）、五等陳兆三郎（臺銀）
▲乘法競技 一等山崎正光（三井）、二等陳兆三郎（臺銀）、三等蔡德堤（南商專修）、四等郭朝琰（中商）、五等牧瀬秩芳（日鐵）
▲讀上暗算競技 一等陳彥熾（商工）、二等陳兆三郎（臺銀）、三等山崎政光（三井）、四等顔德琛（日鐵）、五等許玉波（南商專修）
（寫眞は競技會場）

支那通の畫家
鶴田畫伯を特派
既に北支戰線へ向ふ

吾社は畫筆を携へ戰線に向つた日本美術院同人眞道黎明畫伯を煩し"北支戰線を描く"を連載して來たが、今回更に吾國洋畫壇の寵兒鶴田吾郎畫伯を從軍畫家として北支方面へ特派する事とした。同畫伯は文展無鑑査、太平洋美術學校教授で、滿洲支那へ旅行すること五回、歐洲へ一回、支那語を能くし美術界に於ける支那通として知られてゐる、今秋の文展には"蒙古の女"を出品し好評を博した。同畫伯は既に東京を出發奉天を經て戰線へ向つたので近く其作品と文とは本紙上を飾るに至るであらう。（寫眞は從軍畫家鶴田吾郎畫伯）

臺灣日日新報社

新嘗祭

台灣神社並に台北稻荷神社では二十三日午前九時から新嘗祭を執行する由

日本軍の共同租界通過問題
工部局は反對せず
今後關係國軍隊と交渉

【上海二十一日發同盟】正規の服裝を着けた我軍の共同租界通過問題は廿日の原田、フエッセンデン工部局總務長會見に依り意外の進展を見せ租界當局としては何等反對の意思なきこと明白となつたので問題は共同租界防備に當る關係國軍隊及び佛租界當局との交渉に移される筈

支那海運界へ邦船の飛躍的進出
當局具體案を練る

【東京二十一日發本社特電】支那海運に於ける邦船の活躍は今日迄英國に押されて頗る劣勢の狀態を持續し特に支那沿岸及び內水航路に於ては僅かに日清汽船及び大連汽船が邦船の地盤を死守して來たに過ぎないが支那海運に於ける日支經濟提携上からは勿論國防的見地から見ても頗る緊要な問題であることは政府當局及び關係業者のつとに痛感せる處で殊に支那事變勃發後の新しき極東情勢は益々其の必要性を高めるに至つた、よつて遞信當局に於ても今次の事變により殆ど潰滅的打擊を蒙つた日清汽船の再建の研究を契機に邦船の飛躍的進出を企圖する根本的機構確立の研究に着手、日清汽船大阪商船日本郵船三井物産船舶部等關係業者も夫々獨自の意見書を提出してゐる、遞信當局で研究してゐる具體案が如何に落着くかは今後中南支方面に於ける邦船の將來に重要事變後處置に影響されることは勿論であるが

一、日清汽船を大體現在の機構に於て擴大强化すること
二、日清汽船、大連汽船、郵船、近海郵船、大阪商船等支那關係海運會社を一丸とせる大國策會社を設立する案
三、右第一案に招商局其他有力支那汽船會社を包含した日支合辦會社を新設する事

等が考へられ今後時局の推移を睨み且つ當業者方面の意嚮を充分斟酌して具體案を決定する筈

貴金屬と大金を所持する怪漢
基隆で徘徊中捕はる

【基隆電話】二十日午後十時半頃基隆市義重町の裏露路を年齡三十歳前後の擧動不審の本島人男が徘徊してゐるのを折柄巡行中の基隆署山本、簡速兩刑事が發見誰何した所、右曲者は一目散に逃走したので兩刑事も追跡し大捕物の末逮捕したが、懷中には身分不相應な貴金屬多數點及び現金二百餘圓を所持してをり嚴重な取調にも拘らずその出所は勿論住所氏名も口を緘して答へずその不審極まる點は益々深く或は十八日夜士林で頻經中の老婆を襲うた强盜犯人ではないかと見られる所もあり何にしても近來珍らしい大捕物と張り切つてゐる

謹訂 昨報十六歳の本島人少女が獻金を屆出づと題する記事中の和歌は御製の誤りにつき左に明治天皇の御製を掲げ謹んで訂正する

御製
いたでおふ人のみとりに心せよ
にはかに風のさむくなりぬる

御製
国の為いくさのにはにたつ人に
仇なすやまひふせぎてしがな

順華號乘組員が獻金

【基隆電話】二十日午後二時基隆に入港した大同海運チャーター船順華號の甲板部、機關部、司廚部の全乘組員は時局に鑑み協議の結果この程支給された臨時手當の中より金二十八円七十二錢を醵出し、同日午後六時一同水上署に出頭し國防獻金方を依頼した

壯丁團長が部落民を脅喝

【金山電話】淡水郡石門庄壯丁團長某（四〇）は團長の肩書を利用して石門庄內は勿論他街庄に迄手をのばし總は淡水郡の刑事だと詐稱しては部落民を脅喝金品を絞り上げ遊興に費消し、その後當局の目を逃れて何れへか姿を晦して居たが全島に手配捜査の結果去る十六日台南に潜伏中を逮捕され、目下基隆郡警察課金山分室に留置[illegible]司法主任係りで取調べ中であるが右某は五年前より團長の美名にかくれて惡事を働いて居たもので被害は相當數による見込みである

基隆郡の鑛業事故

【基隆電話】二十日基隆郡下には鑛業事故が二件あつた
一、瑞芳庄龍潭堵[illegible]（四二）は同地基隆炭礦瑞芳二坑坑內で作業中午後零時半出坑せんとする際、折柄捲上中の[illegible]車に衝突らんとして誤つて顛倒、右足指を負傷その他[illegible]を負つた
二、同庄[illegible]（五九）は午後四時半同地[illegible]鑛業八番坑ロイシクライン下部で作業中、[illegible]車が暴走した為め[illegible]二十數尺の崖下に陥落、左足骨折その他に瀕死の重傷を負うた

若草愛國子女團慰問會 臺北第二高女若草愛國子女團では二十三日の意義ある新嘗祭當日を期し左の行事により軍國女性としての意氣を昂揚し心身の鍛錬を為す由、午前七時半學校出發、[illegible]神社に到り參拜[illegible]草山より徒歩にて大屯山を經て金山に到りて炊出訓練をなし同日歸宿

あすの天氣

概況（二十一日）七八〇粍の高氣壓はシベリアのバイカル湖方面にあり南東に移動し七四八粍の低氣壓は北緯一八度東經一二八度に[illegible]全島は一般に[illegible]
臺北地方　東の疾風曇時々雨
北部地方　北東の疾風曇時々雨
東部地方　北東の疾風曇時々雨
西部地方　北の疾風曇時々雨
南部地方　北東の疾風曇時々雨

今晩の映畫

◆芳乃館（電話一四一二番）1青菜の夢　2大日本ニュース　3支那事變[illegible]　4吉田御殿
◆新世界館　1パラマウントニュース　2上州[illegible]　3源太郎笠　4若い者[illegible]
◆タイゲキ　1[illegible]　2支那事變特報　3[illegible]
◆大世界館　1[illegible]　2[illegible]　3世界大海戰・ヘル・ダイヴァー
◆國際館　1[illegible]　2[illegible]　3[illegible]

臺灣日日新報
本日夕刊共十頁
編輯發行人　佐々木
臺北市榮町四丁目　發行所　臺灣日日新報社

皇軍ひた押し
戰線實に六十里
一大壯觀を呈す
北は江陰へ　南は杭州へ

【上海二十一日發本社特電】連日の雨は昨日霙混りの冷雨となり前線の兵士等は寒さと疲勞と闘ひつゝも士氣旺盛、各戰線に亙り急追中なるが、皇軍の向ふ所敵なく、今や我が最前線は北は江陰、南は杭州を連ねる六十里の間に擴がり空前の壯觀を呈するに至つた、蘇州を占領した○○部隊は京滬線に沿ひ敵を西方に急追し既に無錫に肉薄し、又南潯鎭を占領した○○部隊は太湖南方大運河に沿ひ湖州に向つて猛進中、又嘉興を占領せる○○部隊は大運河西方地區より是又湖州に向つて居り、平湖乍浦の敵は嘉興の占領により敗走し澉浦又支へるを得ず杭州方面に總退却を開始し○○部隊は是が追擊戰を展開して居る、福山を奪取した○○部隊は江陰に向け急追中だが又我が陸軍飛行隊は二十一日早朝より霙雨をついて無錫、江陰方面の敵情搜査に赴き敗走の敵に爆擊を加へてゐる、又一部は湖州、長興、鎭江方面の敵狀を搜査爆擊し、空陸呼應して大追擊を實施中である

湖州を占領
○○部隊進出

【上海二十一日發同盟】去る十九日南潯鎭を拔いた○○部隊は更に前進を續け今朝太湖南岸の要衝湖州（呉興）を占領した

無錫に肉薄して
猛烈な攻擊敢行

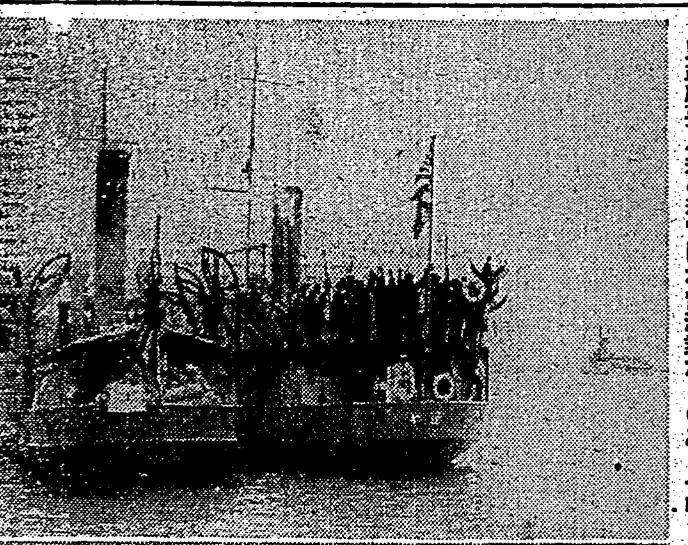
【上海二十一日發同盟】二十日蘇州、無錫街道の望亭及び常熟、無錫街道の塘行を拔いた○○、○○各部隊は連日の降雨と泥濘を冒しながら兩街道を南東兩方面より急追を續け二十一日朝既に無錫に肉薄し猛烈な攻擊を敢行しつゝあり、無錫の陷落は目睫に迫つてゐる

呉福陣地を葬り
敵を西方に急追中

【東京二十一日發同盟】二十一日午後一時大本營陸軍部發表
一、多數のコンクリート製トーチカを有する呉福陣地を葬りて湖東會戰に輝かしき結末を與へたる我が第一戰部隊は二十日早朝概ね福山、常熟、蘇州の線を發し敗退する敵を西方に急追中なり
二、太湖南方地區に於いても我軍は南潯占領後續いて敵を西方に壓迫中なり
三、上海戰場は二十日に至るも降雨止まず長雨益々甚だし

國府部內には軋轢
將領とも意見衝突
支那軍の配置に付き

【ニューヨーク廿日發同盟】A・P通信社南京發電に依れば、第三國の消息通は支那軍が弱いのは戰[illegible]內の政治的軋轢も重大原因で首腦部の協力缺如と軍需品補給の中絶[illegible]に致命的なりと斷定してゐる、[illegible]要するに南京政府と支那軍首腦間



支那警備艦捕獲——寫眞（上）は黃浦江上流で捕獲した支那警備艦[illegible]、寫眞（下）は捕獲した[illegible]上にあつた支那式木造大砲を持ちあげて[illegible]の万歳

孔が眞先に逃出す
南京の要人連ビクビク

（上海二十一日發同盟）十九日遷都と共に五院各長及び行政院各部長もその主管機關とともに夫々奧地へ遷入することになつたが國民政府內部の諸事情の爲め主席林森を除く外は已むを得ず居殘つてゐた所二十日孔祥熙財政部長が逃げ出しのトツプを切つて先づ漢口に向つた、我軍の蘇州突破に依り國民政府要人連の恐慌は相當深刻なものあり今明日中には奧地逃入者續出するものと見られてゐる

蔣介石が泣き言
紐育タイムス特派員に

【上海二十一日發本社特電】南京に踏み止まつて大本營にたてこもつて居る蔣介石は二十日ニューヨークタイムス特派員のインタービューに應じ
國府は現下の時局に寄與する爲め遷都を[illegible]するに至つたが之は長期抵抗の體制を整へたものであり、最後の一兵に至る迄抵抗ふ決心に變りはない、九國條約締結國は被侵略國なる支那を援助すべきであつて侵略國たる日本を助くべからざるものである
と述べ九國會議の曖昧な態度に不滿の意を洩らした

日ソ漁業條約
交渉は好轉か
重光大使が調印督促

【モスクワ二十日發同盟】重光駐ソ大使は二十日ストモニアコフ次長を訪問し日、ソ漁業條約の正式調印方を督促した、ソヴェート政府は從來言を左右にして回答を延期して來たが二十日の會見に依つて交渉は好轉して來た模樣である

舊東北軍五百名
蘇州で銃殺
叛亂を起した廉で

【ニューヨーク二十日發同盟】A・P通信社南京支局が外國武官から得た情報として傳へる所に依れば去る十七日蘇州で舊東北軍の將兵五百名が突如叛亂を起したが中央軍の手で全部銃殺されたと言はれる

建直しに必死
國府が地方長官大異動

【上海二十一日發同盟】國民政府は遂に左の重要人事異動を斷行し、省政府主席及び行政院部長を更迭任命した
即ち張治中を湖南省政府主席に、何成濬を湖北省主席に、呉鼎昌を貴州省主席に、蔣作賓を安徽省主席に、何鍵を內政部長に、程天固を實業部長に任命した

【上海二十一日發同盟】國民政府の地方長官大異動は長期抗戰の態勢整備を急ぐ意圖に出でたもので過去三ヶ月間の敗戰に大打擊を受けた地方將軍の整備を爲すと共に新たに抗日支那の中樞となる湖北、湖南兩省に蔣介石直系を據ゑ陣容を行く蔣政權建直しに必死となつてゐる姿である、即ち從來反府的色彩を濃厚に帶びるものと見られてゐた湖南省主席の何鍵を內政部長の閑職に祭り上げ後任には上海抗戰に敗れた張治中を據ゑ同じく山西戰線に敗れた黃紹竑は[illegible]に歸還せしめず且つ今後の長期抗戰に重大役割を爲す四川、雲南、廣西等西南地方諸省の押へたる貴州省に呉鼎昌を任命したこと等は今次異動の特異性を物語つてゐる

松井軍司令官に
陸軍大臣が祝電
湖東會戰の目的達成されて

【東京二十一日發同盟】廿一日陸軍省發表——常熟、蘇州、嘉興相次で陷落し湖東會戰の目的達成の公報到着するや陸軍大臣より二十日夜松井軍司令官宛て左の祝電を發した
光輝ある[illegible]攻略を祝す、頑強なる敵の抵抗を排し太倉、崑山、常熟、蘇州、嘉興等敵の重要據點を奪取し良く敵をして抵抗の餘地を與へざる猛烈果敢の追擊に依り赫々たる大捷を傳へたり

朝鮮新聞の改組　京城にある朝鮮新聞は創刊五十年を機會に今回組織を改め取締役社長に牧山耕藏氏、副社長に文明琦氏就任し內鮮協力の機構に改造したる由

聖旨を傳達
將兵一同感激す

【上海二十一日發同盟】松井軍司令官は優渥なる勅語を拜するや恐懼感激し二十一日直ちに各部隊長を通じ全將兵に聖旨を傳達し將兵一同感激の極に達した
この光榮ある聖旨は遠く皇軍の威武を中外に宣揚するものにして、我將兵連日の苦戰惡鬪に對しては眞に感激措く能はざるものあり、惟ふに事變の前途猶遼遠なり、切に將兵の武運長久を祈ると共に重ねて榮譽ある戰死者に對し深甚なる敬弔の意を捧ぐ

勅語を傳達
長谷川司令長官が
所屬各艦隊に訓示

【上海二十一日發同盟】今回支那方面艦隊に勅語を賜はりたることに對し長谷川支那方面艦隊司令長官は二十一日所屬各艦隊に對し直ちにこれを傳達し左の如き訓示を爲した
二十日大本營設置せられ、殊に本職に對し左の通り優渥なる勅語を賜はり[illegible]眞に恐懼感激の至りに堪へず、麾下一同と共に益々奮勵努めて聖旨に副ひ奉らんことを期せよ
猶右上交通遮斷の支那方面全艦隊は秋雨煙る二十一日艦上に總員集合して勅語奉讀の後右長官の訓示を傳達した

奉答文
長谷川長官から

【上海二十一日發同盟】支那方面艦隊司令長官長谷川中將は二十一日昨日賜はりたる優渥なる勅語に對し奉り軍令部總長宮殿下の御手許に左の如き奉答文を發した
支那方面艦隊の作戰に對し特に優渥なる勅語を賜はり洵に恐懼に勝へず今日の成果を得たるは一に　天皇陛下の御稜威と[illegible]の加護に依るものにして人爲の能くする所にあらず　將兵と共に倍々奮勵努力誓つて聖旨に副ひ奉らんことを期す

佛租界當局とも
不日交渉を開始
我が素志を貫徹すべく

【上海廿一日發同盟】我方の對共同租界工作は二十日の各國領事會見で一大進捗を見せたが、我方は更にフランス租界當局に對しても共同租界とフランス租界との種々の相違を相當考慮しつつ我方の素志を貫徹する決意を以て更に不日交渉を開始する筈である

首相大廟參拜

【東京二十一日發本社特電】近衞首相は來る二十六日閣議終了後西下し伊勢大廟始め各神社に參拜祈願を爲す事となつた

張總理門司發

【門司二十一日發本社特電】治外法權撤廢の御禮言上の爲め來朝中なりし張滿洲國國務總理は神戶から二十一日朝門司着折柄の雨の中を上陸市役所商工會議所等を歷訪後市役所の午餐會に臨み午後零時半熊野丸で歸國の途に就いたが雨中に兒玉西部防衞司令官始め官民學生等の見送盛んであつた

天無口

二十日をもつて大本營は宮中に設置された、これは去る十七日に公布された大本營令に基く「戰時又は事變に對し必要に應じ」設けられたもので、これに依つて「今次事變の推移に鑑み長期作戰の態勢を以て本格的に武力を行使」するの準備と共に、一[illegible]國民的の國民精神[illegible]の準備も出來上つたもの、國民鐵石の決意も當然たるものありで所謂非常時に金鐵、矢でも鐵砲でも來いの構へである▲實は愈々設置と定るまでは內閣參議の設置とも絡み、內閣との關係につき多少の論議もあつたやうだが、それも二十日、大本營陸、海軍部當局から發表した第一回の談話で『若し往々にして大本營は統帥國務綜合の府なりとなし、或は戰時內閣の前身なりと臆測するが如き者あるもこれ全く根據なき流說』なる旨が斷定され▲さらに『現下の如き狀況に於ては政戰兩略の一致を期するため大本營と內閣との連絡協調は特に緊密を要す』るのであるから、その間に間然する所無き一致の行動が執られるものと確信される▲それにしても明治二十七年二月十三日、宮中の大本營に皇太子殿下、有栖川宮殿下を始め奉り山縣、大山兩元帥、樺山、山本、寺內、小村四大臣、野津、井上兩大將、伊東軍令部長、兒玉參謀次長、伊集院軍令部次長等の參集した當時の模樣も偲ばれて、國民は一段と緊張の氣に打たれるのみ▲つまり現下の國民の氣持は、その全關心が一に時局の推移に懸つてゐるのであつて、醜狀紛々たる政局の內輪話などには斷じて聽つてないのである。在朝と在野とを問はず、苟くも政治家たるもの此の國民心理を確實に把握するの心掛があらう。

揚子江下流に
水雷を敷設
斷末魔近き南京近狀

【ニューヨーク二十日發本社特電】A・P通信南京電報は斷末魔近き南京の狀況を左の如く報じて居る
外交部は宣傳部を除いて依然南京に踏止まつて居るので列國外交官も殘留して居る、之が爲め日本空軍は攻擊し難いやうだ、支那側は南京死守の決意を固め連日の豪雨で日本空軍の來襲なきを幸ひ防空施設を强化しつつあり、砲臺には軍需品が山積されて居る又日本海軍の來襲に備へ鎭江から下流揚子江一帶に水雷を敷設すると共に防材を沈めて居る

伊國政府も
在ソ領事館閉鎖
タス通信の報道

【モスクワ二十日發同盟】タス通信はイタリー政府も在ソ領事館を閉鎖することとなつた旨左の如く發表した
ソ、伊兩國政府は領事館問題につき外交交渉を行つてゐたが二十日右交渉を終了、イタリー政府は明年一月廿日までにキエフ總領事館、レニングラード、チフリスの二領事館及びノヴォシヴイルスク、バツームの二副[illegible]

五部隊に感狀
松井軍司令官授與

【東京二十一日發同盟】二十一日陸軍省發表——上海方面に勇戰奮鬪を續けゐる各部隊中特に全軍の模範と爲すべき飯田、天谷、和知、田上、重藤部隊に對し十一月三日松井軍司令官より感狀を授與せられ十一月十九日上聞に達せられた

沃度含有量 昆布の千五百倍
一回一粒一日三粒
微量にて効く！

ネオス・エーを一粒のめば、長さ五尺、幅五寸の昆布を食べたと同量の沃度分が攝取される。全く新しい製劑法による今までにない沃度劑の完成であつて、これでこそ沃度本來の特性である治病、强壯の効果は、何等の副作用なく、十分に發揮される。而も大量の沃度を含有してゐるので微量にて効くのである。

精力の充實に
早老の挽回に
血壓の安定に
結核の克服に
惡血の淨化に
體質の强化に

一粒强壯劑
ネオスA

ネオス・エーが上記のやうに廣汎なる適應症を有する所以は、大量の活性沃度と豐富なるビタミンA・Dを含有し、その綜合効果を十分に發揮するからである。即ち甲狀腺に作用し全身のホルモン活動を活潑にする。新陳代謝機能を旺盛にして諸器官の老衰退化を防止し、且つその機能を高める。動脈硬化を軟げ、血液の循環を圓滑にして血壓を安定する。結核菌を殺し、その毒素を排除して結核疾患を克服する。惡血を淨化して潜伏黴毒を一掃し、榮養を高めて體質を强化するのである。

藥價
携帶容器入　一圓
小瓶　一圓八十五錢
一〇〇粒　四圓三十錢
二〇〇粒　八圓
五〇〇粒　十八圓
一〇〇〇粒　三十四圓
幼兒にはネオス・ビー
全國藥店にあります。萬一藥店に品切の場合は、[illegible]なり代用なりで直接本舖へ御注文下さい
東京神田神保町三　アルス藥品部　振替東京七一三一九　電話九段二七五・二七六

絕對健康法
山崎英治先生著　三百頁の美本
無代頒布
醫界革新の書
皇漢醫學の傳統的精神を最新の科學の立場から復興した空前の治病强健法公開！
海軍少佐　福永恭助氏曰く
（前略）保健療病の問題たるや、各國民各個の自覺と決意によるの外なきは勿論にして[illegible]
絕對健康法の偉力を知らないで病氣に苦しんでゐられる方々へ、眞の正しい治病强健法をお傳へする希望と光明の聖典である。
希望者はハガキで御申込次第一人一冊限り「絕對健康法」を無代で進呈いたします
東京神田[illegible]　アルス

臺灣農產業の新らしき使命（一）

熱帶作物を新目標とせよ

殖產局農務課長 二番ケ瀨佳雄（述）

世界の經濟情勢は近來著しく變化した。各國は平和を願望しつゝも一面戰時に備ふる經濟の編成に懸命となるの矛盾を藏し、彼我共に物資の自給自足と資源の開發、生產力の擴充等戰時經濟の整備に着手し、ブロック經濟傾向は益々強化されて、自主的排他的傾向は日を逐うて濃厚となり、自由經濟は今日では殆ど統制經濟化するに至つた。斯くて各國は夫々經濟的に乏しい我國は、世界の新情勢に應じ凡ゆる方面の

資源獲得 に關し茲に細心の注意と研究を餘儀なくされるに至つたが、今次勃發せる支那事變は、我國をして急速に戰時體制を編成せしむる事となり、茲に全國民打つて一丸となり非常時局突破に邁進することとなつた。帝國唯一の熱帶領土たる台灣は常時に於ても帝國の生產機構、經濟組織に於て母國と有機的に最も緊密なる綜合關係を有し其の特異性を發揮すべき使命を有する。而して今は又戰時體制下に於て

本島資源 の凡ゆる方面に關し茲に愼重なる考慮をなすと共に、更に現狀の再檢討をなし將來の進むべき指標を確立する必要がある。從來の台灣の產業は日本內地における經濟的乃至は政治的要求に基き、只管食料農業をその根基とし發展し來つた。即ち增殖する日本人口に對する食料供給地といふ植民地的役割を果すには、台灣は自然的條件に惠まれてゐる關係上、恰好の土地とされ、天惠は當局の指導奬勵と相俟つて、台灣の農業は我國主要食料品たる米の生產を中軸とし實に飛躍的の發展を遂げた。即ち

蓬萊種の 栽培と共に大正十四年以來その產額急增し、現在に於ては年額一千万石に達し之を領台當初の二百万石程度に比するときは實に五倍の增產で最近に於ては年々五百万石程度の米を母國に供給しつゝあり、食料問題解決の見地より見るときは、從來の台灣農業は遺憾なくその任務の一つを果したと見る事が出來よう。更に米と相並んで台灣の最重要產業たる砂糖は國內自給を目差して極力保護奬勵され來つた結果領台當初における原料甘蔗の收穫高六億八千二百万斤は今日に於ては實に百三十億九千万斤の多きに達し、甲當收量に於ても往時の二倍以上を示し、產糖高は國內需要額を完全に充たして更に餘剩を生じつゝあり今や台灣糖業は世界糖業國の班に列するの狀態にまで立至つた。即ち以上の事實より見るに今日迄發展し來つた台灣の農業が、我國に對し貢獻し來つた功績の實に甚大なるものあるは之を言明するに憚らない所である。然し乍ら

世界情勢 の推移、經濟機構の變遷につれて、斯ふした生產部門のもつ意味に又大きな相違の生ずることを吾々は見逃してはならない。台灣における今迄の農產計畫は上述の如く、米と甘蔗の增產がその根幹をなし、而も是等は共に有利なる生產業として今日迄發展し來つたのである。然し乍ら、自由經濟時代に於て效果のあつた生產業も、現在の如き統制經濟形態、求償貿易主義の時代にあつては、餘程その持つ重要さに變化が起つてゐる、又部分的、局地的な立場より見た場合に、有利な生產業たり得るものも一つの

ブロック 內に於て大局的立場より之を觀察し直した場合には寧ろ歡迎せられざる場合すら際々にして起る、何故ならば、昔と違つて今日に於ては「安く生產される」ところで產出に生產することは必ずしもその國家の繁榮を意味するものではなくなつたからである。例へば最も卑近な例を採れば朝鮮、台灣に於て米が安價な生產費で生產せられ最近に至り內地への移出數量が急激に增加したために、內地における農業を壓迫するの影響と相俟つて、內地の農村を窮迫するの現象を呈し

外地米の 生產增加が年間議會における米穀問題の中心をなし、政府をして米穀統制法を樹立しなければならぬ現狀を惹起し、茲に移出の制限はその最も著しいものであるが如きはその最も良い例である。天惠に惠まれて多種類の農產物を生產し得る地域に於ては、たとへ或ものの生產が非常に有利に好都合な場合でも、それが生產條件の相對的に惠まれてゐない他地域に於て、主要にして而も存立の基礎的な生產業であつた場合には、たとへ消極的に不利はあつてもその生產を制限し、更に他部門にその新使命を見出さなくてはならない場合がある、又さうすることが有機的綜合力のより大なる強化を必要とする現在に於ては

全體的に 見て効果があり、それ自身重要な役割を演じてゐることを知らなければならぬ。この意味に於て、當然台灣に於てはたとへ內地に比し米の生產が安く出來得るとしても、供給過剩に苦しみつゝある現狀より見るときは、從らに高米價に刺戟されて米作偏重に陷ることなく、もつと國家的に重要な而も熱帶地に於て始めて生產出來得る農作物の生產に新目標を置いて之が有利なる栽培その進路を展開しなくてはならぬ。これが現在台灣に課せられたる產業上の重要な課題であり、その解決こそ台灣農業將來の發展飛躍を約束せしむるの途でもあらう（ツヾク）

「注目すべき」

滿洲、北支、朝鮮の米生產力を強化

現地調辦新政策擡頭す

日本農業の新岐點

支那事變を契機として今や日本農業の[illegible]現地開發の前に分散的修正を加へられんとしつゝあるが、暫らく問題の

重要性を 認識された[illegible]全體的にもこの形を取つても淨彫的に現はれて來たことは注目に値する。

即ち、戰時體制に[illegible]、全體的國も[illegible]同列の地位を持つに至つたが、[illegible]が滿洲に分家して[illegible]米穀を中心とした滿洲北支、外地米[illegible]を果させようと、[illegible]支に移住させ[illegible]れ始めたことは日本農業の將來に極めて影響的な問題として關心を惹かれてゐる。

元來、米麥の

內地生產 が、生產コストの低い外地の壓迫を被ることは必然であり、この對立を經濟的に調整する爲が[illegible]されてゐるが、[illegible]外地米が內地米より安[illegible]外地に食糧の[illegible]、北支にかける米麥生產が一層國力に具體化するものと觀られてゐる。いま、我が國に於ける最近五ケ年平均の

米消費額 七千百八十四万石を產地別に比較して見ると

產地	消費額	割合
內地米	五八、九〇〇万石	八二%
朝鮮米	八、三三一	一一
臺灣米	四、九二九	六
外國米	一〇四	一
合計	七一、八四	一〇〇

右の如く內地の米消費額は八割は內地米で占めてゐるが、多數の人口を[illegible]結果は、內地米の生產力低下は當然と見られるから、戰時體制の見地からは外地及び滿洲北支に食糧生產力を持つことが作戰上有利なりと判定されるわけである。更に

米の輸入（最近五ケ年平均）を見ると次表の如く總額の八九・二%は暹羅米である

仕出國	輸入額	割合
英領印度	七、八〇八石	〇・[illegible]%
佛領印支	[illegible]	〇・[illegible]
暹羅	[illegible]	八九・[illegible]
北米合衆國	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	〇・〇一
合計	[illegible]	一〇〇・〇

右の輸入米は昭和九年の凶作年に一時輸入を禁止したが、日滿親善關係に鑑みて那來年三十万石を限り外米組合に輸入を許可してゐるから、現在では右數字よりも遙かに少く、最近の米穀事情から觀てこれ以上必要としないとの理由で

事變後の 買込みも斷つて居り、且つこれ等の外國米は品質が劣る爲、殆ど飴用、工業用に供されてゐるに過ぎないので、戰時食糧としては問題にならない。然るに、朝鮮米の品質は[illegible]龜ノ尾、[illegible]が[illegible]三號、[illegible]計二千九百万石の生產力を持ち、滿洲も亦二百七十五万石の生產をあげ、北支にも相當の生產餘地をもつてゐるので、たとへ平時に於ける內地輸移入を法律的に調整するとしても

その生產力だけは充分培養して置くべきであると の聲が擡頭してゐる

[illegible]、朝鮮內地同圈と同一である爲殆ど內地米と變らず台灣米も亦これに追隨してゐる、この兩者が合

發芽率を惡くせぬ

脫穀機を考案

種子籾も安心して出來る

從來 種子の調製を回轉脫穀機により行ふ時は、籾粒に損傷を及ぼすこと大きく、これを苗代に播種した場合、苗腐敗病等を發生させる等の缺點があるので、新竹州農事試驗場では、在來脫穀機に改善を加へた新型式種籾調製機を考案、數十回に亘る試驗の結果好成績を得るに至つた

即ち 本機は開脫機付自動回轉脫穀機で、その主要部の構造を示すと、概略長四尺×二・三尺、全高三・二尺、重量三〇貫、主として木製一人搗き用で、機枠に扱胴を軸架し、扱胴の周圍に扱齒を螺旋狀に植設、扱齒を扱胴の內側にて伸縮自在の彈機で止め扱胴の上方には穀粒後方に開閉板また下方には篩網の通孔の配列を扱胴の螺旋狀に植設して扱胴の中心線の上に來るやう裝設したものである。扱胴を回轉しながら前方の扱口に禾束を挿込むと、扱胴のため大部分は脫穀されて、その直下に設けた篩網を通過、更に傾斜板に沿ひ落下する途中で風選機により風選され、第一口に精籾、第二口に粃籾、第三口に藁屑を夫々選別する

次に 試驗成績を示すと、本機を扱胴の毎分回轉數四〇〇—四五〇で脫穀した籾は、發芽步合苗代に於ける苗の發育狀態等千齒扱きによる籾に比し何等遜色なく、また扱齒の形狀が特殊なるため脫穀に當り扱齒の彈撥に作用する面積が增大し、比較的低速回轉（有効周速度一七五〇—一八五〇尺）でも充分脫穀し得られ、在來型よりも回轉數を略三〇%低下し得る效果がある。選別網に於ける選別作用が完全で、殆ど二粒、藁の土に停滯せず、從つて籾粒が扱口に逆流することはない。千齒扱きに比し一工程にて八—九%、採種圃にて四〇%程度を增加し得られる

また 扱齒の欠脚部に於ける緩衝用彈機、選別網、扱齒の內側にかける軟質材料等が相俟つて籾の損傷を輕微ならしめる效果を有する

シヤム公使信任狀捧呈

新任駐日シヤム國公使ピヤ・シー・セナ氏は十一日午前十時三十分宮中に參內鳳凰の間に於て天皇陛下に謁見仰付られ、信任狀並に前任公使の解任狀を捧呈した【寫眞は參內の公使右】

機械學會の祝賀講演大會

臺北と臺南で開催

社團法人機械學會は全國に會員を有し本島には約三百人の會員を持つてゐるが、本年は創立四十周年に相當し第一回會長で現に同會の名譽顧問である眞野文治氏（東大名譽教授、元文部次官）の九大各名譽教授、長岡紀元の記念大會を兼ね全國一齊に大會を開催することゝなり台北では台灣技術協會後援の下に十一月四日午後六時成會を、五日午後六時記念講演を鐵道ホテルで開催し台南では同月十一日記念講演を開催する豫定、祝賀會は日時未定となつてゐる右に付內地からは副會長工學博士松田竹太郞氏、九大教授工學博士山口昂一氏外三名來台し松田氏は「熱と機械」に就て、山口副會長は「熱學」に就て講演し尙本島からは台南高工教授堀田保太郞氏が特殊機械に就て、台灣總督府技師三氏が台灣の機械工業に就て大衆向きな通俗講演を爲し、一方台南では松田副會長の「工作機械の今昔」と題する講演の外台北帝大大山助教授柴林台南高工教授等が講演することゝなつて居り、講演會は機械學會員、台灣技術協會員、製糖會社、鐵道部其他の技術者、學生等の外一般の聽講隨意で講演には五、六百人の聽眾を中心に約百人出席する筈で內地からの出席者は十一月一日着台し開會に先だち

產地降雨に丸糯は買人氣

休日前から樣變り

[illegible]金瓜石鑛山其他を視察し三日は南部高雄州下蕃界及び松山の鐵道工場を見學する豫定である、台灣での同大會開催は九年振りであるから定めし盛況を呈するだらうと期待されてゐる

入荷薄で久しく低迷商狀を繰返した丸糯は二十日朝來產地降雨を入れて買氣擡頭し中場は各限共十二円二十四錢台に噴出した、午後は受渡休會乍ら季末の買煽りで十二月十日限は十二円四十四錢と一段の高値に付け丸糯物特の足下りを發揮した、且先限と天候不良の入報に內地の仲間に於て沖十二円台を買込んだ成行き[illegible]は氣が抜けず、廿日夜はぼつ〳〵の入荷があつた頃來產地の西南で現米と移出商の買唱へはいつも十錢位の開きがあるが、需要期の接近につれ買退れた玄米は買氣が起り現米と契約米が無難になつた、休日中は利有筋の利喰で各限共十二円四十錢に押つ引弛んだ、新竹台中兩州下の丸糯は殆と知入れたが、台北州物は之から收穫する時なので相場の騰貴は天候に支配される所が多い譯である

國民精神總動員講演會

國民精神總動員中央聯盟主催の大講演會は十一日午後一時日比谷公會堂に於て木戶文相出席のもとに盛大に行はれた【寫眞は木戶文相】

鮮米生產の發展 內地を遙かに凌ぐ

生產額の五割は內地へ移出

米作對立の尖銳化

農林省では、內地產米經濟の重壓となりつゝある朝鮮の生產及移出入事情を調查中であつたが、この程これを取纏めて發表した。右によれば、內地の田に當る畓面積は百六十八万一千二百町步で、內二毛作四十三万二千町步、又田（內地の畑）は二百七十五万町步で、畓、田合計は四百四十三万二千町步餘である。

農家戶數 は三百六万[illegible]六千五百戶の內自作農が五十四万八千戶、自作兼小作が七十三万九千戶、小作が百五十九万一千戶、火田民が七万六千五百戶、被傭者十一万二千戶で、自作兼小作と小作農を合して總數の七六%を占めてゐる。これ等の農業者を內鮮人別に見ると、總數千五百三十三万二千餘人の內、九九%は鮮農である。右の農業者によつて生產される米は最近五ケ年平均で千七百二十三万石で、內五二・八六%は米作收入の作付反別（十一年）は百六十万町步に上り、千九百四十一万石の生產をあげてゐるが、注目すべきは

反當生產 力の增大であり、即ち大正元年當時の反當收量は、僅かに〇・七六七石に過ぎなかつたが、昭和元年には〇・九[illegible]石に增大し、同十一年には一・二二石に增大し、最近五ケ年平均を取つて見ても一・〇六一石に增してゐる。いま、この發展過程を、生產高に就いて見ても、次表の如く內地より遙かに急テンポの指數を示してゐる

年次（五ケ年平均）	朝鮮生產高 千石	內地生產高 千石
大正元—五年	[illegible]	[illegible]
同 五—十年	[illegible]	[illegible]
昭和元—五年	[illegible]	[illegible]
同 二—六年	[illegible]	[illegible]
同 七—十一年	[illegible]	[illegible]

右の發展は、主として內地の品種を以て改良した技術向上の所產であることは爭はれない。例へば十一年度の

作付品種 を見ると、改良品の一六・九%は銀坊主、二一・五%は陸羽一三二號、一〇・一%は穀良都、六・一%は多摩錦、四%は赤神力と云ふ如く、大部分は內地品種であり、これ等の優良品種は他の朝鮮品種に比して反當一斗五升前後も增收してゐるのである

次に朝鮮米の輸出を見ると、その數量は多い年でも七万石程度であるが、內地向移出は、最近五ケ年平均で八百二十二万石に上り、この五二・二五%が玄米、一・四八%が糯米、四五・七七%が精米となつてゐる。この內地向を月別（五ケ年平均）に見ると最も多いのは十二月の一四・八九%で、十一月の一一・七四%、一、三、四月の各九・五%前後の順である。この內地

移出額は 年々增大して、昭和七年には生產額の四七・六九%であつたが、昨年は五二・九%となり、五ケ年平均にしても五〇・九二%であるから、生產額の半分は內地へ商品化されてゐるわけである

事變後の情勢に對應 馬政計畫は再檢討

增殖率維持增進に施設を擴充すべく

馬政局準備に著手

馬政局に於ては、支那事變後に於ける馬匹徵發による內地馬匹の減少と將來の需給の不均衡に因る資質低格の懸念に鑑み十三年度以降の馬數を急速に增大して內外新情勢に對應する必要ありとし、種馬育成施設を強化すべく、所要經費を明十三年度豫算に計上するところあつたが、大藏省に於てもその

緊急性 を認め、この要求額を承認するものと觀られてゐる、而して、右の都道府縣の種馬施設の強化案は馬政局所管の種馬牧場、種馬育成所、種馬所の增設、種馬所の內容充實、技術官の增員、地方馬事奬勵事務の增設、種付助成を初め、共同利用種畜施設の強化等に亘るものである。從つて第二次馬政計畫に就いても部分的修正を加へる必要がある

事變の 見透しを俟つて今次徵發の實績を基礎に一層周密なる檢討を試みることとなり、この點に關し當局は[illegible]局長、[illegible]課長等を北支に派遣し目下踏查中であるが、又この計畫再檢討に就ては軍部との連絡を一層緊密にする必要を痛感してゐるので陸軍省馬政課部その他とも充分連絡の上、今後の產馬實績充實と合理化を期す方針である。尙現在の產馬頭數は大體年生產十一万頭に對して年數死亡二万頭で差引自然增加は八万頭見當に過ぎず、

總馬數 は百四十五万頭見當で、大體の傾向は年々增減の數字を示してゐるから、今後滿洲及び北支那方面の各產馬改良に、內地種牡馬を輸出するに於ては、內地產馬の增殖率が一層低下する惧れがあるので、この對策を如何にするかに就いても、其筋は考究することとなつた

特產課の蔗園調查

第二回に着手

殖產局特產課では第二回蔗園調查をなすこととなり、高橋技手は二十日既に出發し新竹、台中兩州下を調查、三十日歸着の豫定で富岡囑託は來る二十八日出發、台南、高雄兩州下を調查、來月十五日歸着の豫定、又[illegible]囑託は來る二十七日出發、台北州下及び花蓮港、台東兩廳下を調查、來月五日歸着の豫定である。尙今秋來氣候惡く例年になき減收のため甘蔗の價格も低く步留の低下を懸念されてゐる

內地側から見た丸糯強弱觀

【神戶廿一日發本社支局特電】本年の丸糯強弱觀を綜合するに強氣の見る所は標準の全國的減收、殊に關東地方の半作等が敗れ、それに近い內地品に引合ある事は益々前途有望たるもので、此の辺十二円割れは絕對買だと主張してゐる、之に反し弱氣筋は內地品は相場であり、これ等の[illegible]からすれば恐らく高いものになり割高な丸糯に影響する程のものではなく、寧ろ丸糯の新天地として天津方面の輸入許可となつても沖の十二円五、六十錢では殺到の二円も加はるものでない、と云つてゐる

石拔檢查は意外の好成績

百%合格多し

移出米石拔檢查は實施前から檢查合格率に付種々懸念されてゐたが臺北州下の十四日間は、[illegible]の檢查を突破すべく石拔機の外に補助として萬石使用と女工を傭つて手選りの方法を講じた結果、意外の好成績を擧げた。十一月一日以來最近迄百パーセントで石拔檢查にパスしたものは左の通りである、萬石は石拔に於て相當の效果があるから又山林檢查員の米穀檢查所に依ると十月五日の石拔合格は外十一日の受檢米百六十五俵、十二日一百俵、十五日七百五十俵、十六日五百俵は全部合格した

		合格回數	袋數
鶯歌	余無能	一〇	二八〇〇
同	沈金海	一一	一九六六
山子腳	王標棧	一	六八四
宜蘭	呂新連	九	二五五〇
同	林順金	九	一〇〇〇
同	李火財	七	一〇〇〇
同	藍鉎生	二	四〇〇
同	黃阿德	二	一一二七
同	陳文通	五	六〇〇
同	郭木炭	七	一二〇〇
同	邱番婆	三	三九八
同	盧瑞	四	八〇〇
同	張千山	三	五五〇

例年の例を以て推測することはどうかと考へられ臣與の好材料そのものが惡材料とも見得るもので殊に惡いものがよく餘つてくる例もあり、民貿りに妙味がありはせぬかとしてゐる、果して何れに凱歌が揚るか今後の相場は興味殷々たるものがあらう。關係者の言ふ所は非常時國民精神總動員の秋に當り、今年の糯米は

臺中州下の今期製糖豫想

三百七十二萬餘擔

台中州下各製糖工場の昭和十二、十三年期原料處理は大日本彰化工場の十一月二十八日を皮切りに各工場共に十二月中に壓搾を開始する筈、壓搾見込數量は新式十工場、改良一、舊式一計十二工場で三、〇六九、五〇一、六六七斤で產糖豫想高は三、七二九、一三六擔で步留は一割一分乃至四分である

工場名	壓搾原料 千斤	產糖高 擔	步留 %
帝國	七三五、〇〇〇	九四一、五〇〇	一三・〇〇
烏日	二〇一、三三六	二六一、四四七	一三・〇〇
月眉	一九七、三三六	二二六、八四九	一一・〇〇
沙轆	七一、一七六	八八、九七一	一二・五〇
彰化	二三五、一〇一	二六二、八三九	一一・三三
溪湖	四七七、二〇〇	五三五、〇〇〇	一一・二〇
溪州	五五九、八〇四	六七三、〇〇〇	一二・〇〇
源成	九〇一、三二五	一〇五、五一五	一一・七〇
南投	二〇一、七〇〇	二〇四、〇〇〇	一四・〇〇
埔里社	一〇一、〇〇〇	一三六、六〇〇	一三・四〇
改良糖廍 竹山	七五、五六六	八一、〇〇〇	一六・三〇
舊式糖廍 日式	四九、三三四	四九、三三五	〇九・九〇
合計	三、〇六九、五〇一	三、七二九、一三六	[illegible]

新貨物驛と移出米運搬

米庫組合が協議

大稻埕貨物驛が十二月一日より樺山町へ移轉することゝなつたが指定米穀檢查倉庫は移轉が出來ないから大稻埕驛米庫を利用する台北市內及び新莊郡下の台北米庫利用組合員二十餘名は二十日午後二時から正米市場工會所に於て同驛移轉後に於ける移出米は檢查倉庫から樺山町貨物驛へ運搬する事に付協議した結果各自に於て適宜の方法で運搬することとし四時頃散會した

外國經濟電報

（二十一日着）

外國金塊相場
倫敦現物 七磅〇〇志〇〇片
紐育現物 三五弗

外國銀塊相場
倫敦現物 一九片八分五
同 先物 一九片二分一
紐育現物 休み

外國爲替相場
紐育對英國爲替 二九弗二〇仙
同 米英クロス 五弗〇〇仙八分五
倫敦對米日爲替 一志〇二片

紐育株式
スチール株 五三弗四分一
アナコンダ株 一七弗八分三
工業株二十種平均 一二〇弗四五仙
鐵道株二十種平均 三二弗〇六仙

外國棉花相場
米棉現物 七仙九一
同 平均 三十二錢八分
同 先物 八仙〇三
印棉平均 二十一錢安

シカゴ小麥
十二月限 九二仙四分三
同 高値 九三仙八分一
同 安値 九〇仙四分一
五月限 九二仙八分五
七月限 八六仙八分三

紐育砂糖
一月限 二仙三七
三月限 二仙三六
五月限 二仙二七
七月限 二仙三八

玖馬砂糖
實糖 二仙一六分九

倫敦砂糖
十二月限 五志一〇片四分三
三月限 六志〇一片二分一
五月限 六志〇三片四分一

●保證責任有限信用組合（臺北）產業組合登記公告
[illegible]

給仕募集
年齡十五歲以上內地人高等小學卒業男二名女二名採用ス十一月二十五日朝來社履歷書持參ノコト
新竹州新營 鹽水港製糖株式會社

大阪商船 臺灣出帆
◎基隆出帆（○印高雄經由）
門司神戶行（○印台中經由）[illegible]
香港行（高雄經由）[illegible]
鹿兒島、長崎、博多、北鮮行 河南丸 [illegible]
沖繩行 [illegible]
蘇澳、花蓮港、台東行 [illegible]
高雄行 [illegible]

近海郵船 基隆出帆
門司神戶行 大和丸 十一月廿四日午後五時
富士丸 十二月一日午前十時
上海行 [illegible]
香港廣東行 [illegible]
其他大阪名古屋東京横濱行 [illegible]

辰馬汽船 出帆
▲內地より入港
桃葉丸 十一月十九日基隆入港

大連汽船 基隆出帆
大連直行 [illegible]

丸一組

貨車覆 天幕 防空用黑幕 見本進呈
台北本町 竹腰商店

酒 銘 月桂冠 西村商會

新起町二丁目 古物商 高橋商店 御不用品高價買入

朝の一杯 マルダイ佐渡味噌

現代人の要求せる流線型自轉車出現す 南國貿易公司

骨董屋

菊正宗 台北 藤田商店

四色牌大賣出

防衞團又ハ各團體用卷ゲートル 勝芳商行

世界馳名 九一四內服新藥

蓬萊パン粉

ほまれ香

福福カゼ藥

カーテン 卓子掛 秋本商店裝飾部

盛進商行茶舖

（第三種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年十二月二十一日

臺灣日日新報 夕刊

十二月二十一日
夕刊定價一部一錢

編輯兼發行人 佐々木 ［illegible］
發行所 臺北市［illegible］ 臺灣日日新報社
高雄市［illegible］ 基隆支局
臺中市［illegible］ 臺中支局
臺南市［illegible］ 臺南支局
花蓮港［illegible］ 花蓮港支局
大阪市［illegible］ 大阪支局
東京市［illegible］ 東京支局

政局は現狀維持 擧國一致に邁進

首相信念を披瀝せん

【東京二十一日發同盟】今次事變の最高目的達成に完璧を期し長期抗戰に備へて對支膺懲の聖戰に徹底的效果を收めんとする我國不動の體制は大本營の設置に依つて一層强固を加へるに至り皇軍の神速果敢なる進擊と相俟つて東洋平和の確立を目差す歷史的偉業はその終局に向つて漸く第二段の展開を示さんとし之とともに政府の動向並に時局收拾の方針は內外の視聽を集める所となつた、即ち政府に於ては當初大本營の設置を機會に內閣制度を改正し戰時に則應した强力政治を行ふべしとの議論もあつたが近衞首相としては內閣の一致結束こそ內閣を最も强力たらしめるものであるとの信念に基き參議制度の活用と相俟つて擧國一致體制の强化、國論の統一に向つて一路邁進すべく二十二日の閣議並に參議會の席上近衞首相よりこの信念を披瀝し閣僚、參議の一致結束を要望することとなつた（寫眞は近衞首相）

長期戰鬪に備へて 戰時豫算を編成

總額二十八億七千萬圓程度 大藏省で查定開始

【東京二十一日發同盟】大藏省では十一月以來明年度各省豫算要求を［illegible］に基き査定を進めてゐたが若干未決定の部分を殘して査定原案を作製するを得たので二十一日より愈々陸軍省を除く閣係［illegible］、內務、外務、司法、文部、農林、商工、遞信、鐵道、拓務の各省の順序を以て說明［illegible］を行ひ同時に說明終了したる豫算について夫々の事務當局と折衝を開始した、而して明年度豫算については各省との折衝の關係で確定するには至らないが各省の要求總額約三十八億圓に對して二十八億七千萬圓程度に査定し得る見透しを得るに至つた、即ち明年度豫算は本年度の當初成立豫算の程度に査定し得た譯であつて右査定方針は支那事變が明年度一杯繼續するものと假定し飽く迄長期戰の體制に即したものである

南京は廢墟

人通りは殆ど絕えて 軍警、物々しい

【上海二十日發同盟】確實なる消息に依ると非戰鬪員の撤退を完了した今朝來の南京は殆んど人通りなく警戒の軍警の姿が物々しく、市街要所要所を嚴重に固め前線より後送された將兵の擔架の縱列が長蛇の列をなしてゐる、嘉興方面より輸送された負傷兵はこの二日間に六千名に達したと云はる

佐藤、高橋兩部隊 猛進！虞山占領

敵兵は對岸に遁走

【常熟二十日發同盟】佐藤、高橋の兩部隊及び永津部隊虞山占領に依り常熟を中心とし附近一帶に蟄居の敵兵は陸に據る退路を斷たれ十九日午後三時湖上に用意された數百隻の戎克に依り對岸徐家店、蔣巷方面に遁走した

豫算查定大綱

【東京二十一日發同盟】大藏省の明年度豫算査定の大綱左の如し

一、長期戰に備へて戰時體制に基く豫算編成を行つたこと
一、一般的な經費はこれを節約繰延したこと
一、戰後の經營施設に關する經費は一切計上せず萬一明年度內に平時狀態に復した場合は臨時議會を開き追加豫算として計上すること
一、明年度の一般軍事費については既定計畫の遂行に遺憾なきを期したこと
一、各省の一般的經費については既定經費と雖もこれを極力節約繰延したること
一、軍事費以外の經費については左の經費に重點を置いて計上したこと

1 技術員（機械、化學、工業、電氣、鑛山等）の養成に關する經費
2 紙［illegible］經費
3 勞力調整（職業紹介事業其他）に關する經費
4 貿易振興に關する經費
5 滿洲移民に關する經費

一、明年度一般豫算の財源については經常歲入及び公債に仰ぎ增稅は臨時軍事費特別會計豫算の査定に當つて研究すること

戰爭は之からだ

長谷川長官は語る

【旗艦出雲にて同盟特派員二十日發】上海戰局は今や本格的第二期戰に入つたが二十日午後三時長谷川第三艦隊司令長官は旗艦出雲の長官室で記者團と會見、大要左の如く語つた

問 上海の跡始末に關する方策如何

長官 日本は政治問題については考へてゐない、又今そんな事を考へる時期でない、勿論東洋平和のために上海を如何にしなければならないかと云ふ帝國の根本原則は決定してゐよう、吾々武人が兎角云ふ必要はないことだ

問 今後の作戰如何

長官 作戰に關することは云へぬ上海戰局と云つても全體の大きな戰局から引出して考へることは間違ひで海軍としては更に一層陸軍の作戰に緊密な協力をなし戰果の擴張に邁進する

問 事變の發展に關する見透し如何

長官 戰ひはこれからだ、支那は飽く迄も長期抗戰で抵抗してゐる、吾々は中途半端で止める譯には行かぬ、支那がその非を悟らざる限り戰爭は續くと考へなければならぬ、戰は寧ろスタートしたばかりだ、東洋平和の基礎を固めるために起つたのだ、徹底的に抗日容共の支那をして反省させねばならないのだ

第三艦隊の手で 航行を遮斷

二十日午後六時以降

【上海二十日發同盟】艦隊報道部午後六時發表

九月五日第一艦隊司令長官吉田善吾及び同日第三艦隊司令長官長谷川淸の宣言した中華民國沿海に對する同國公私船舶の交通遮斷は十一月二十日午後六時以降本官の指揮下に屬する海軍力を以て之を行ふ

十一月二十日
支那方面艦隊司令長官
海軍中將 長谷川 淸

ハンブルグに 國策機關生る

日滿獨 貿易振興を目的に

【新京二十一日發本社特電】滿獨通商關係は兩國政治、經濟の兩方面にかける好環境展開の機運により近時著しく其の友好關係を深めつつあるが、今回獨逸ハンブルグに滿洲貿易振興會が設立せられ、兩國［illegible］提携の中核的結合機材たる滿洲大豆の積極的對獨輸入を促進し、以て日、滿、獨貿易の改善發達及び其の共同利益の增進に資する事となり、强力なる國際的機關の創立をみるに至り、十月二十五日ハンブルグに於て滿洲貿易振興會第一回會合を開き茲に日滿獨合作の貿易振興を目的とする强力なる國策機關の誕生をみるに至つた

川崎部隊猛進

瀾溪塘大運河渡河

【嘉興二十日發同盟】十九日夕刻泥濘を衝いて嘉興西方の双板橋を急襲難なくこれを陷れた川崎部隊は更に敵背進擊を續け二十日早曉○○○の線に進出前方に橫たはる瀾溪塘大運河（嘉興、杭州を繫ぐ運河）を隔して抵抗した敵も橋本○部隊の猛擊に一溜りもなく潰走し川崎部隊の先頭は既に運河を渡つて急進しつつある

敵船四隻を擊滅

【常熟二十日發同盟】中島部隊の一部は二十日虞山の中腹地點に砲列を布き尙湖方面に潰走する敵兵を砲擊中、午前十一時頃今しも湖岸を離れて遁走せんとする大砲積載の敵船四隻を發見、忽ち三隻を擊沈殘る一隻は砲兵が山を驅け降り敵兵を殲滅大砲諸共捕獲した

常熟で劇的握手

（常熟二十日發同盟）白茆口上陸部隊の一部は二十日午前七時常熟西門より入城し續いて東北より追擊し來つた○○部隊は北門より入城し來り同じく南門より進擊し來つた○○部隊と城內中央にて相會し劇的な握手を交はした

國府は支離滅裂

南京死守など空宣傳

【ニューヨーク二十日發本社特電】U、P通信員南京特電によれば米國大使館は二十日午後支那政府から重慶へ遷都する旨の正式通告を受けたがジョンソン大使はまだ引揚げの日を決定してゐない、但し大使館員數名は既に重要書類を持つて砲艦ルソン號に乘込み列國の大使館も米國に全部引揚げる模樣である、尙支那側では最後まで南京を死守するに決した模樣だが外人筋では政府機關を各地に分散させて如何にして政府の實權を維持し得るやを危んでをり支那政府は支離滅裂に陷るのではないかと見てゐる

支那、遷都を宣言

（上海二十日發同盟）國民政府は重慶遷都宣言を二十日正午內外に向つて正式に發表と同時に南京を死守して屈辱的講和には斷じて應ぜざる旨を明かにした、尙發表とともに在南京外交團は一齊に漢口に移轉を開始した

日伊の友好を更に深めたい

國民使節大倉男が 羅馬で聲明書發表

【ローマ十九日發本社特電】國民使節大倉喜七郎男一行は十九日午後六時ローマに到着、左の如き聲明書を發表した

日本國民は今回私をイタリー國民とその結合の表象であり且つイタリーの指導者であるムツソリーニ首相の下に送つた、その目的は我が國民の好意を傳達し併せて將來の友好を祈るに外ならない、最近の日本は支那事變に關する海外の誤解を一掃する爲め數ケ國に對して國民使節を送つた、私もその一人に數へられるが使命は決して同じものではない、なぜならば貴國政府とその國民とは既に日本の立場を理解されてをり說明を申述べる必要がないからである、其處で私の使命は我が國民の斯かる理解を如何に感謝してゐるかと言ふことを說明し、更に相互の理解を深め不動不拔の點にまで進めたいと言ふ希望を表明することに關係するものと諒解してゐる、兩國は天然の資源乏しく所謂持たざる國の二代表國となつてゐる、從つて同一環境の下に於ては大體同じやうな狀態が誘致されると言ふ自然の法則から考へても兩國民の生活內容、國民經濟政策に關し類似性が生れ、それが自然兩國民の感情を接近させる作用を演ずるのである、感情の接近が同情の交換と理解の結成とを生ずることは言ふまでもない、唯兩國民は異なる半球に住んでゐる爲め右類似性を國策上に感ずることが稀であつたが、最近に至り世界不安の增大と國際關係の密接化によつて我然兩大國の眞摯な協定がとげられるやうになつた、從つて相距たる千里の遠方から固い握手が交されるに至つたのは主として前述の國民感情の結合が見えざる基礎をなしてゐるものと確信される、又この基礎なくしては如何なる外交條約も決して永續性を持たず、又その效果も期待に反する場合が多いのである、この意味から私は最近の日、獨、伊防共協定に多大の期待を有すると同時に兩國の關係を一そう强化する爲めに國民的相互理解の一層深きを加へることを希望して已まないのである

壯絕！巨彈の雨

無錫、蘇州の上空で 海の荒鷲群が亂舞

【上海二十日發同盟】海軍航空隊今村部隊の○○機は二十日午前十時密雲を衝いて三日振りに無錫、蘇州に飛び巨彈の雨を降らした、この日雨未だ霽れやらぬ蘇州、無錫の上空は海の荒鷲群の亂舞に蔽はれ雨中に壯烈な爆擊戰が展開された

福山に陸戰隊上陸

【上海廿一日發同盟】揚子江上にあつて陸上部隊と協力中の○○艦隊海軍陸戰隊は二十日福山に上陸を敢行、呉福陣地の最北端福山を占領し軍艦旗を掲げた

臺灣のパルプ工業 益々旺盛に

森岡總務長官談

【東京二十日發本社支局特電】森岡長官は入京以來各省聯絡その他上京の要務を爲しつつあつたが二十日首相官邸出張所で大要左の如く語つた

支那事變に對しては日本資本の進出方面に對しては益々良果を收め北支を爲し得る狀況となつたが我が爲め臺灣の使命とする南支南洋方面に對する進出發展を阻害するやうな事はないかと云ふものもあるが、右はその土地々々が全然異つて居り南方の仕事は南方でなくてはならぬ爲になるから北支あるが爲め從來の南進國策を阻害するやうな事は決してないと思ふ、臺灣興業のパルプ原料としてバガス供給不足を懸念されて居たが固より我々としても前分の手段を講ずる筈である許りでなく臺灣のパルプ工業は是より益々旺盛ならんとする形勢にあり、現在の燃料バガスは他の燃料に轉用さるべき情勢で、今や臺灣興業會社のバガス不足問題の如き決して憂慮すべきものでないと思ふ、臺拓の安藤副社長が辭任したがその後任は補充を爲さずその儘にしたい心算だ

平和への協力

獨外相 英樞相 會談の內容

【ベルリン二十日發本社特電】ノイラート外相ハリファックス英樞相との會談に付ては何等の發表なく外紙の報道は單なる憶測に過ぎないが二十日D、N、B通信は同會談の形式で信頼すべき方面からの報道として會談の內容は左の如く傳へてゐる

ドイツの平和への協力を力說した後國際政局の不安及び紛爭の原因に付き意見を交換し更にドイツ外交の基調たる方能なる範圍內に於ける二國間の諒解運動に付き說明を行ひ、次いで獨外相はベルリンローマ樞軸、日獨伊三國防共協定の締結こそドイツ外交不動の方針なりと說明、

但しドイツ及びその友邦との間には何等の對立も紛爭發生の原因もなき現實を明かにした、最後に兩者は從來兩國間で種々の形態で試み成功した建設的平和政策を履行する必要ありとの點で意見一致した

張總理故國へ

【神戶二十日發同盟】新任滿洲國國務總理張景惠氏は友好國の訪日答禮使節としての重任を恙なく終へた滿洲國國務總理一行十一名は二十日午前八時新大阪ホテルを出發、神戶より日滿連絡船鳥羽丸で一路故國へ向つた

陳支那代表が 伊首相を訪問

【ローマ十九日發同盟】支那財政部長陳公博は去る十二日ローマ到着以來チアノ外相を始めイタリー政界の有力者と會見して支那側の立場を說明してゐたが、十九日午後六時ヴエネチア宮にムツソリーニ首相を訪問、種々懇談を遂げた、會談の內容は發表されないが伝聞するに右會見の際、陳公使は本國より携行した蔣介石のメツセージをムツソリーニ首相に手交したと

綿糸及棉花の 最高標準價格

【東京二十日發同盟】商工省發表の綿糸及び棉花の最高標準價格は左の如く決定した

◇綿糸 金巾［illegible］二十番手一梱二百二十五圓、受渡月、昭和十三年一月及び二月 規格、ニユーヨーク定期二月限大引七仙七九、一〇ポイント時高毎に一梱につき二円五十錢

◇棉花 ストリックト、ミドリング八分の七吋ステープル一担四十八円二十五錢 受渡月、昭和十三年一月及び二月 規格、ニユーヨーク定期二月限大引七仙七九、五ポイント變動毎に一担につき二十五錢

新政權承認

波、ユー兩國が

【サンセバスチアン二十一日發同盟】スペイン反政府軍側はポーランドとユーゴー兩國は近くフランコ政權を承認するに決した旨正式に發表した

その日その日

○

官市に大本營、日本歷史に大書され後世に殘る一大事實だ、"時局重大"の感、一段と切實

○

行政府も、勢ひシヤンとしなくてはならぬ破目だ、近衞內閣に取つても"實力試練"の一瞬

○

上海派遣軍に帝國政府に對し優渥なる勅語を賜はる、將兵感激の大あらしは、中支一帶の海岸を掃はん

○

上海の共同租界や佛租界に、抗日魔を蔽る餘地なからしめる我方の要望、近來トテモ痛快な一手

○

蘇州を席捲して皇軍忽ち無錫に迫る、あとは常州、丹陽、句容を經て一路南京へ

○

句容は左の如く南京から［illegible］の地點に當り、一つは揚子江岸の江陰へ、他は京滬線に沿つて常州に通じ後へ鐵路沿線の鎭江に達する▲所謂から鐵道線路に沿つて右へ進めば揚子江岸の海軍根據地鎭江に達し鐵路南京に屆くが、更に所謂より左に折れて山地の途を進むと句容に達する▲この句容は陸の方面に於て首都南京が防禦する最も重要な陣地で、若し之が陷落すれば最早や南京を持ち堪へる事は不可能とされ句容陷落と共に南京陷落の報が出てゐる位だ、現に句容あたりのところは百里內外、天下分け目の大戰果も近きにあることと想はしめる。

○

皆が慢しい○○部隊の勇戰よ、武運よ、これから百事ず南京まで先陣争ひの形ち

○

これでもまだ自慢の"犧牲"は不足だといふのか、南京の軍事的死傷は六十万乃至八十万と推定される――何とまア

○

敵の遺棄死體だけでも十五万、南の手足を日一日ともぎ取つてゐるのだから自慢には讀え向き

○

至福國よ、勸務と有ゆる不便との鬪ひに、海上遮斷に留つてゐる將兵の上をも…忘れないで

府辭令

（二十日付）

殖產局商務課事務を命ず 府技師 八田 與一

人事

▲阪島秋氏（拓務省、前日前岡山那守）二十一日渡臺蓬萊丸にて上京赴任
▲河井治氏（森永ミルク會長）二十一日來臺（日之丸館）
▲木下信太郎氏（朝鮮遞信局局務課長）廿一日歸北、同日內地へ
▲西村良次氏（大阪商船會社取締役）二十一日內地へ
▲殖賀良氏 二十一日南部より來北二十一日內地へ

★無絃琴★

"十一月中には南京まで"などいふ氣早の豫想もある程だが、畢して然うは易々と戰果を收め得るや否、今後の實際に微なる外ない、唯南京に命部の所在地とされてゐた蘇州が案外の如く時日を經ずして陷落した、皆の手で一挙に罪の手を掛け敗兵の見分けを付け限で皇軍と支那軍との見分けさへ付かぬといふ程に狼狽から判斷すると、支那軍は殆どう意思を失つて後退、後退の一途を辿つてゐるやうだから、此調子では案外早く目茲ず南京の攻撃が出來るかも知れない▲皇軍は蘇州を落して二手に進み無錫へ［illegible］から南京への迫撃を續けてゐるらしいが［illegible］

浮標のごとき女

(144)

尾崎士郎 作
梁川剛一 畫

悲しき人々（十三）

横綱はひとりで二階の隅にある洋室のソフアーにもたれかかつてゐた。次第に苛立たしくなつてくる氣持をぐつとおさへながら、ひと風呂浴びてかへつてきたところなのである。

そこへ、扉をノックする音が聞えて、丈の高い飛龍が三糞子を前へ押しやるやうにして半身を覗のあひだから覗かせた。

「どうも」

と、彼は三糞子の方をふりかへつて、さつきとは打つて變つたやうな穩かな態度で話かけた。

「大へんな御災難でしたな――」

彼にどうと踏まつてきたのである

「そんなことを仲間がいわ――仲間が勝手なところへ引張つていつてしまふんですもの」

「そんな言ひわけが通るかい」

横綱の顏が蟷螂のやうにとがつて見えた。

「僕もさつきまではさう考へてたんだがね――いくら言つたつてわからないからつて子供じやあるまいし、道を間違つたと思つたらすぐあとへ引つ返せばいいぢやないか」

「どうして、そんな風にお考へになるのかしら――あたし、ほんとに困つてしまつたのよ」

「僕だつてどんなに心配したか知れないよ、しかし、今となると、どうしても君の氣もちがわからないんだ、今日の問題ひは問題ひといふことにして置かう、しかし、この問題はどう考へてもこれだけぢや濟まさうわけにゆきさうもないな」

「どういふ意味？」

三糞子もだんだん落ちついた氣もちになつて、椅子によりかかつた。

「だからさ――君の態度の中にどうにも信じ得られないやうなあやふやなものがあると思ふんだがね、むろん、僕も故意に君が萬國旗から脫け外れていつたなぞと考へやしないよ」

「ぢやあ、何なの？」

「何なのつて――そいつを君の口からハツキリ言つてもらひたいんだ、僕もなるべく君に都合のいいやうに考へようと努力してゐたんだが、こんなだけは君の氣もちをつかむことができないんだ――そりやあ、君に何とかひとつちやあ桑田君の手前、君が戀はれると事が生ずるかも知れないが、それにしたつて、あれから君、何時間經つてゐると思ふ？」

「それから、横綱の方を向いて、「御心配なすつたでせう」にやにやと笑つてから「いづれ」といひ殘してバタンと扉をしめた。横綱は立つてゐる三糞子の顏をちらつと眺めただけで、すぐ新聞に眼を落した。

「どうなすつたんですの？」

椅子の背をおさへた三糞子の指先がわなわなと顫へてゐる。

「――さつき電話をおかけした方なんですが」

落ちつきのない尖つた声でさう言つたとき、横綱が、はじめて憐憫げな眼をあげた。

「どうだつて、何がどうなんだい？」

「だつて――ゐるところをハツキリ申し上げたぢやありませんか？」

「だから迎ひにやつたんぢやないか」

「――そりやあさうだけど、あたし助けていただいた方に申譯のないことをしてしまつたのよ」

「まア、いいさ、それよりも、お前は桑田のアパートをよく知つてゐたね――おれにはそいつがどうしてもわからないんだが、君の所でそんな約束でもしたの五い？」

「そんなこと――」

一瞬横綱の顏がみるみるうちに［illegible］けてゐるらしい［illegible］

(第二版)(夕刊)(每日發行)(明治三十一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十二年十二月二十一日

臺灣日日新報 夕刊

十二月二十一日
夕刊定價一部二錢

政局は現狀維持 擧國一致に邁進

首相信念を披瀝せん

【東京二十一日發同盟】今次事變の最高目的達成に完璧を期し長期抗戰に備へて對支膺懲の聖戰に徹底的效果を收めんとする我國不動の體制は大本營の設置に依つて一層强固を加へるに至り皇軍の神速果敢なる進擊と相俟つて東洋平和の確立を目差す歷史的偉業はその終局に向つて漸く第二段の展開を示さんとし之とともに政府の動向並に時局收拾の方針は內外の視聽を集める所となつた、即ち政府に於ては當初大本營の設置を機會に內閣制度を改正し戰時に則應した强力政治を行ふべしとの議論もあつたが近衞首相としては內閣の一致結束こそ內閣を最も强力たらしめるものであるとの信念に基き參議制度の活用と相俟つて擧國一致體制の强化、國論の統一に向つて一路邁進すべく二十二日の閣議並に參議會の席上近衞首相よりこの信念を披瀝し閣僚、參議の一致結束を要望することとなつた(寫眞は近衞首相)

長期戰鬪に備へて 戰時豫算を編成

總額二十八億七千萬圓程度 大藏省で查定開始

【東京二十一日發同盟】大藏省では十一月以來明年度各省豫算要求の內容に基き査定を進めてゐたが若干未定の部分を殘して査定原案を作製するを得たので二十日より愈々陸海軍省を除く外務、內務、大藏、司法、文部、農林、商工、遞信、鐵道、拓務、厚生の各省と折衝を行ひ同時に政務終了したる豫算について夫々の事務當局と折衝を開始した、而して明年度豫算案については各省との折衝の關係で確定するには至らないが各省の要求豫算總額約三十八億円に對して二十八億七千万円程度に査定し得る見透しを得るに至つた、即ち明年度豫算は本年度の當初成立豫算の程度に査定し得た譯であつて右査定方針は支那事變が明年度一杯繼續するものと假定し飽く迄長期抗戰の體制に即したものである

豫算查定大綱

【東京二十一日發同盟】大藏省の明年度豫算査定の大綱左の如し

一、長期戰に備へて戰時體制に基く豫算編成を行つたこと

一、一般的な經費はこれを節約繰延したこと

一、戰後の經營施設に關する經費は一切計上せず萬一明年度內に平時狀態に復した場合は臨時議會を開き追加豫算として計上すること

一、明年度の一般軍事費については既定計畫の遂行に遺憾なきを期したこと

一、各省の一般的經費については既定經費と雖もこれを極力節約繰延したること

一、軍事費以外の經費については左の經費に重點を置いて計上したこと

1 技術員(機械、化學、工業、電氣、鑛山等)の養成に關する經費

2 貿易振興經費

3 勞力對策(職業紹介、失業其他)に關する經費

4 貿易振興に關する經費

5 滿洲移民に關する經費

一、明年度一般豫算の財源については經常歲入及び公債に仰ぎ增稅は臨時軍事費特別會計豫算の査定に當つて研究すること

戰爭は之からだ

長谷川長官は語る

【旗艦出雲にて同盟特派員二十日發】上海戰局は今や本格的第二期戰に入つたが二十日午後三時長谷川第三艦隊司令長官は旗艦出雲の長官室で記者團と會見し大要左の如く語つた

問 上海の跡始末に關する方策如何

長官 日本は政府問題については考へてゐない、又今そんな事を考へる時期でない、勿論東洋平和のために上海を如何にしなければならないかと云ふ帝國の根本原則は決定してゐよう、吾々武人が兎角云ふ必要はないことだ

問 今後の作戰如何

長官 作戰に關することは云へぬ上海戰局と云つても全體の大きな戰局から引出して考へることは間違ひで海軍としては更に一層陸軍の作戰に緊密な協力をなし戰果の擴張に邁進する

問 事變の發展に關する見透し如何

長官 戰ひはこれからだ、支那は飽く迄も長期抗戰で抵抗してゐる、吾々は中途半端で止める譯には行かぬ、支那がその非を悟らざる限り戰爭は續くと考へなければならぬ、戰は寧ろスタートしたばかりだ、東洋平和の基礎を固めるために起つたのだ、徹底的に抗日容共の支那をして反省させねばならないのだ

第三艦隊の手で 航行を遮斷

二十日午後六時以降

【上海二十日發同盟】艦隊報道部午後六時發表

九月五日第一艦隊司令長官吉田善吾及び同日第二艦隊司令長官長谷川淸の宣言した中華民國船舶に對する同國公私船舶の交通遮斷は十一月二十日午後六時以降本官の指揮下に屬する海軍力を以て之を行ふ

十二月二十日

支那方面艦隊司令長官

海軍中將 長谷川 淸

ハンブルグに 國策機關生る

日滿獨 貿易振興を目的に

【新京二十日發本社特電】滿獨兩國關係は政治、經濟の兩方面に於ける好狀況展開の機運により近時著しく其の友好關係を深めつつあるが、今回獨逸ハンブルグに滿洲貿易振興會が設立せられ、同會は日滿獨三國の提携の中核的統制機關たる滿洲大豆の獨逸輸入を促進し、以て日、滿、獨貿易の改善發達及び其の共同利益の增進に資するを目的とし、強力なる國際的機關の創立をみるに至り、十月二十五日ハンブルグに於て滿獨貿易振興會第一回會合を開き茲に日滿獨合作の貿易振興を目的とする强力なる國策機關の誕生をみるに至つた

川崎部隊猛進

瀾溪塘大運河渡河

【嘉興二十日發同盟】十九日夕刻瀾溪塘大運河(嘉興、杭州を繫ぐ運河)を隔して抵抗した敵も橋本〇砲隊の猛擊に一溜りもなく潰走し川崎部隊の先鋒は既に運河を渡河し更に敵を追擊して二十日早曉〇〇〇線に進出前方に横はる〇〇〇線に向つて急進しつつある

日伊の友好を 更に深めたい

國民使節大倉男が 羅馬で聲明書發表

【ローマ十九日發本社特電】國民使節大倉喜七郎男一行は十九日午後六時ローマに到着、左の如き聲明書を發表した

日本國民は今回私をイタリー國民とその結合の表徵であり且つイタリーの指導者であるムツソリーニ首相の下に送つた、その目的は我が國民の好意を傳達し併せて將來の友好を祈るに外ならない、最近の日本は支那事變に關する海外の誤解を一掃する爲め數ケ國に對して國民使節を送つた、私もその一人に數へられるが使命は決して同じものではない、なぜならば貴國政府とその國民とは既に日本の立場を理解されてをり說明を申述べる必要がないからである、其處で私の使命は我が國民の斯かる理解を如何に感謝してゐるかと言ふことを說明し、更に相互の理解を深め不動不拔の點にまで進めたいと言ふ希望を表明することに終始するものと諒解してゐる、兩國は天然の資源乏しく所謂持たざる國の二代表國となつてゐる、從つて同一環境の下にある以上、自然に同じやうな狀態が誘致されると言ふ自然の法則から考へても兩國民の生活內容、國民經濟政策に關し類似性が生れ、それが自然兩國民の感情を接近させる作用を演ずるのである、感情の接近が同情の交換と理解の結成とを生ずることは言ふまでもない、唯兩國民は異なる半球に住んでゐる爲め右類似性を國策上に感ずることが稀であつたが、最近に至り世界不安の增大と國際關係の密接化によつて我等兩大國の眞摯な協定がとげられるやうになつた、從つて相距たる數千里の遠方から固い握手が交されるに至つたのは未とし前述の國民感情の結合が見えざる基礎をなしてゐるものと確信される、又この基礎なくしては如何なる外交條約も決して永續性を持たず、又その效果も期待に反する場合が多いのである、この意味から私は最近の日、獨、伊防共協定に多大の期待を有すると同時に兩國の關係を一そう强化する爲めに國民的相互理解の一層深きを加へることを希望して已まないのである

壯絕!巨彈の雨

無錫、蘇州の上空で 海の荒鷲群が亂舞

【上海二十日發同盟】海軍航空隊今村部隊の〇〇機は二十日午前十時密雲を衝いて三日振りに無錫、蘇州に飛び巨彈の雨を降らした、この日雨未だ霽れやらぬ蘇州、無錫の上空は海の荒鷲群の亂舞に蔽はれ雨中に壯烈な爆擊戰が展開された

福山に陸戰隊上陸

【上海廿一日發同盟】揚子江上にあつて陸上部隊と協力中の〇〇艦隊海軍陸戰隊は二十日福山に上陸を敢行、呉福陣地の最北端福山を占領し軍艦旗を掲げた

南京は廢墟

人通りは殆ど絕えて 軍警、物々しい

【上海二十日發同盟】確實なる消息に依ると非戰鬪員の撤退を完了した今朝來の南京は殆んど人通りなく警戒の軍警の姿が物々しく、市街要所要所を嚴重に固め前線より後送された將兵の擔架の縱列が長蛇の列をなしてゐる、嘉興方面より輸送された負傷兵はこの二日間に六千名に達したと云はる

佐藤、高橋兩部隊 猛進!虞山占領

敵兵は對岸に遁走

【常熟二十日發同盟】佐藤、高橋の兩部隊及び永津部隊虞山占領に依り常熟を中心とし附近一帶に蟠據の敵兵は擧に據る退路を斷たれ十九日午後三時湖上に用意された數百隻の戎克に依り對岸金家店、蔣巷方面に遁走した

敵船四隻を擊滅

【常熟二十日發同盟】中島部隊の一部は二十日虞山の中腹地點に砲列を布き尙湖方面に潰走する敵兵を砲擊中、午前十一時頃今しも湖岸を離れて遁走せんとする大砲積載の敵船四隻を發見、忽ち三隻を擊沈殘る一隻は砲兵が山を駈け降り敵兵を殲滅大砲諸共捕獲した

常熟で劇的握手

(常熟二十日發同盟)白茆口上陸部隊の一部は二十日午前七時常熟西門より入城し續いて東北より追擊し來つた〇〇部隊は北門より入城し來り同じく南門より進擊し來つた〇〇部隊と城內中央にて相會し劇的な握手を交はした

國府は支離滅裂

南京死守など空宣傳

【ニューヨーク二十日發本社特電】U、P通信によれば米國大使館は二十日午後支那政府から首都へ遷都する旨の正式通告を受けたがジョンソン大使はまだ引揚げの日を決定してゐない、併し大使館員數名は既に軍艦に乘込み列國の大使館も宗昌市に全部引揚げる模樣である、尙支那側では最後まで南京を死守するに決した模樣だが外人筋では政府機關を各地に分散させて如何にして政府の實權を維持し得るやを危んでをり支那政府は支離滅裂に陷るのではないかと見てゐる

支那、遷都を宣言

(上海二十日發同盟)國民政府は重慶遷都宣言を二十日正午內外に向つて正式に發表と同時に南京を死守して屈辱的講和には應じて應ぜざる旨を明かにした、尙發表とともに在南京外交團は一齊に漢口に移轉を開始した

臺灣のパルプ工業 益々旺盛に

森岡總務長官談

【東京二十日發本社支局特電】森岡長官は入京以來各官衙その他に上京の挨拶を爲しつつあつたが二十日首府出張所で大要左の如く語つた

支那事變は益々戰果を收め北支方面に對しては日本資本の進出を爲し得る狀況となつたが是が爲め臺灣の使命とする南支南洋方面に對する進出計畫を閑却するやうな事はないかと云ふものもあるが、右はその土地柄が全然異つて居り南方の仕事は南方でなくてはならぬ爲になるから北支あるが爲め從來の南進國策を阻害するやうな事は決してないと思ふ、臺灣興業のパルプ原料としてバガス供給不足を憂慮されて居たが固より我々としても應分の手段を講ずる苦である許りでなく臺灣のパルプ工業は是より益々旺盛ならんとする形勢にあり、現在の燃料バガスは他の燃料に轉用さるべき情勢で、尙又臺灣興業會社のバガス不足問題の如きは決して憂慮すべきものでないと思ふ、臺灣の安藤副社長は茲に辭任したがその後任は補充を爲さずその儘にしたい心算だ

平和への協力

獨外相 英樞相 會談の內容

【ベルリン二十日發本社特電】ノイラート外相ハリファックス英樞相との會談に付ては何等の發表なく外紙の報道は單なる臆測に過ぎないが二十日D、N、B通信社は信頼の形式で信頼すべき方面からの報道として會談の內容を左の如く傳へてゐる

ドイツの平和への協力を力說した後國際政局の不安及び紛爭の原因に付き意見を交換し更にドイツ外交の基調たる萬能なる紛爭內に於ける二國間の諒解運動に付き說明を行ひ、次いで獨外相はベルリンローマ樞軸、日獨伊三國防共協定の存在こそドイツ外交不動の方針なりと說明、併しドイツ及びその友邦との間には何等の對立も亦紛爭發生の原因もなき現實を明かにした、最後に兩者は從來兩國間で種々の形態で試み成功した建設的平和政策を履行する必要ありとの點で意見一致した

張總理故國へ

【神戶二十日發同盟】訪日答禮使節としての重任を恙なく終へた滿洲國張國務總理一行十一名は二十日午前八時新大阪ホテルを出發、神戶より日滿連絡船黑龍丸で一路故國へ向つた

陳支那代表が 伊首相を訪問

【ローマ十九日發同盟】支那副宣傳部長陳公博は去る十二日ローマ到着以來チアノ外相を始めイタリー政界の有力者と會見して支那側の立場を說明してゐたが、十九日午後六時ヴエネチア宮にムツソリーニ首相を訪問、種々懇談を遂げた、會談の內容は發表されないが仄聞するに右會見の際、陳公博は本國より携行した蔣介石のメッセージをムツソリーニ首相に手交したと

綿糸及棉花の 最高標準價格

【東京二十日發同盟】商工省發表、綿糸及び棉花の最高標準價格は左の如く決定した

◇綿糸 金巾標準二十番手一梱二百二十九円 受渡月、昭和十三年一月及び二月 規定、ニューヨーク定期二月限大引七仙七九、一〇ポイント標準に一梱につき二円五十錢

◇棉花 ストリックト、ミドリング八分の七吋ステープル一担四十八円二十五錢 受渡月、昭和十三年一月及び二月 規準、ニューヨーク定期二月限大引七仙七九、五ポイント標準に一担につき二十五錢

新政權承認

波、ユー兩國が

【サンセバスチアン二十一日發同盟】スペイン反政府軍はポーランドとユーゴー兩國は近くフランコ政權を承認すると決した旨正式に發表した

その日その日

〇

宮市に大本營、日本歷史に大書され後世に殘る一大事實だ、"時局重大"の感、一段と切實

〇

行政府も、勢ひシヤンとしなくてはならぬ破目だ、近衞內閣に取つても"實力試練"の一評価

〇

上海派遣軍並に帝國海軍に對し優渥なる勅語を賜はる、將兵感激の大あらしは、中支一帶の海國を摑はん

〇

上海の共同租界や佛租界に、抗日陰を醸る餘地なからしめる我方の要望、近來トテモ痛快な一手

〇

蘇州を席卷して皇軍忽ち無錫に迫る、あとは常州、丹陽、句容を經て一路南京へ

〇

敵の遺棄死體だけでも十五万、死傷は六十万乃至八十万と推定される—何とまア

〇

これでもまだ自慢の"犧牲"は不足だといふのか、尤も蔣介石は自分の手足を催日そぎ取つてゐるのだから自滅には誂へ向き

〇

君が懷しい〇〇部隊の勇戰よ、武勳よ、これから月を待たず南京まで先陣爭ひの形ち

〇

寒い朔風と、勵揚と有ゆる不便との裡に、海上遮斷に當つてゐる將兵の上をも…忘れないで

府辭令

(二十一日)

府技師 八田與一

殖產局農務課兼務を命す

人事

▲飯島叔氏(拓務事務官、前岡山縣知事)二十一日發の蓬萊丸にて上京赴任

▲河井治氏(森永ミルク社長)二十一日來臺(日之丸館)

▲木下龍太郎氏(朝鮮專賣局庶務課長)廿一日歸北、即日內地へ

▲西村良次氏(大阪商船臺灣總支店取締役)二十一日內地へ

▲植村恒氏 二十日南部より來北二十一日內地へ

無絃琴

"十一月中には南京まで"などいふ氣早の觀測もあつた様だが、果して然う急速に戰果を收め得るや否、今後の實際に徵する外ない、嗚呼南京司令部の所在地とされてゐた蘇州が發表の如く將校斥候だけの手で一番乘りが出來たら、支那兵が碌ぼけ眼で皇軍と支那軍との見分けさへ付かぬといふ程に狼狽から判斷すると、支那軍は殆ど戰意を失つて後退、後退の一途を辿つてゐるやうだから、此調子では案外早く目を待たず南京の攻略が出來るかも知れない▲皇軍は蘇州を落してから宜興銀に追び無錫へ嶽進を續けてゐるらしいが、[illegible]から[illegible]

浮標のごとき女

(144)

尾崎士郎 作

梁川剛一 畫

悲しき人々 (十三)

それから、横關の方を向いて、

「御心配なすつたでせう」

にやにやと笑つてから「いづれ」といひ殘してバタンと扉をしめた。横關は立つてゐる三重子の顏をちらつと眺めただけで、すぐ新聞に眼を落した。

「どうなすつたんですの?」

椅子の背をおさへた三重子の指先がわなわなと顫へてゐる。

「—さつき電話をおかけした者なんですが」

落ちつきのない尖つた聲でさう言つたとき、横關が、はじめて懷しげな眼をあげた。

「どうだつて、何がどうなんだい?」

「だつて—ゐるところをハツキリ申上げたぢやありませんか?」

「だから迎ひにやつたんぢやないか」

「—そりやあさうだけど、あたし助けていただいた方に申譯のないことをしてしまつたのよ」

「まア、いいさ、それよりも、お前は桑田のアパートをよく知つてゐたね—おれにはそいつがどうしてもわからないんだが、君の所でそんな約束でもしたの五い?」

「そんなことを—」

[illegible]ときから[illegible]てゐる氣持が一[illegible]

「僕だつてどんなに心配したか知れないよ、しかし、今となると、どうしても君の氣持ちがわからないんだ、今日の問題ひは問題ひとしいふことにして置から、しかし、この問題はどう考へてもこれだけぢや濟まさうわけにゆきさうもないな」

「どういふ意味?」

三重子もだんだん落ちついた氣もちになつて、椅子によりかかつた。

「だからさ—君の態度の中にどうにも僕等に頁へないやうなあやふやなものがあると思ふんだがね、むろん、僕も故意に君が方因義から縦へ外れていつたなぞと考へやしないよ」

「ぢやあ、何なの?」

「何なのつて—そいつが君の口からハツキリ言つてもらひたいんだ、僕もなるべく君に都合のいいやうに考へようと努力してゐたんだが、こんだけは君の氣もちをつかむことができないんだ—それりやあ、舞台によつちやあ桑田君の手が君が救はれるといふ場合が生ずるかも知れないが、それにしたつて、あれから君、何時間經つてゐると思ふ?」

横關の顏がみるみるうちに険しく[illegible]ひにゆがんで[illegible]

夜にどうと蹈まつてきたのである

「そんなことを仰言つたんぢやないわ—倶因が勝手なところへ引張つていつてしまふんですもの」

横關の顏が魅力のやうにとがつて見えた。

「僕もさつきまではさう考へてゐたんだがね—いくら君だつて子供ぢやあるまいし、道を間違つたと思つたらすぐあとへ引つ返せばいいぢやないか」

「どうして、そんな風にお考へになるのかしら—あたし、ほんとに困つてしまつたのよ」

悲しき人々 (十三)

横關はひとりで二階の窓際にある洋室のソフアーにもたれかかつてゐた。次第に苛立たしくなつてくる氣持をぐつとおさへながら、ひと風呂浴びてかへつてきたところなのである。

そこへ、扉をノックする音が聞えて、丈の高い桑田が三重子を前へ押しやるやうにして半身を覗かせた。

「どうも」

と、彼は三重子の方をふりかへつて、さつきとは打つて変つたやうな物柔らかな態度で話かけた。

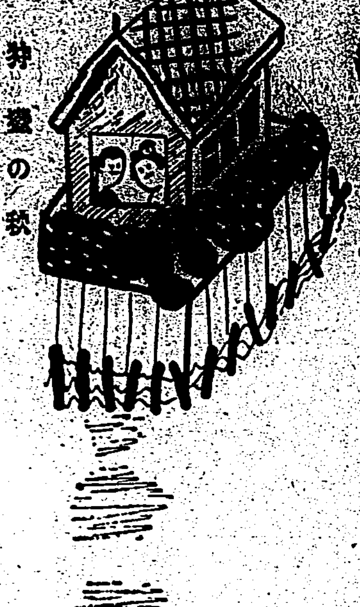
「大へんな御災難でしたな—」

は二つに分れ、一つは揚子江岸の江陰へ、他は京滬線に沿つて常州を經て丹陽に至る▲丹陽から鐵道線路に沿つて右へ進めば揚子江岸の鎭江根據地鎭江に達し鐵路南京に到るが、更に丹陽より左に折れて山地の途を進むと句容に達する▲この句容は陸の方面に於て首都南京を防衞する最も重要な陣地で、若し之が陷落すれば最はや南京を待ち構へる事はできぬとされ句容陷落と共に南京陷落の觀が出てゐる位だ、現に句容あたりまで來ると、南京の城壁も近ざかり、天下分け目の大戰果も近ざにあるとの想はしめる。

野村幸一編

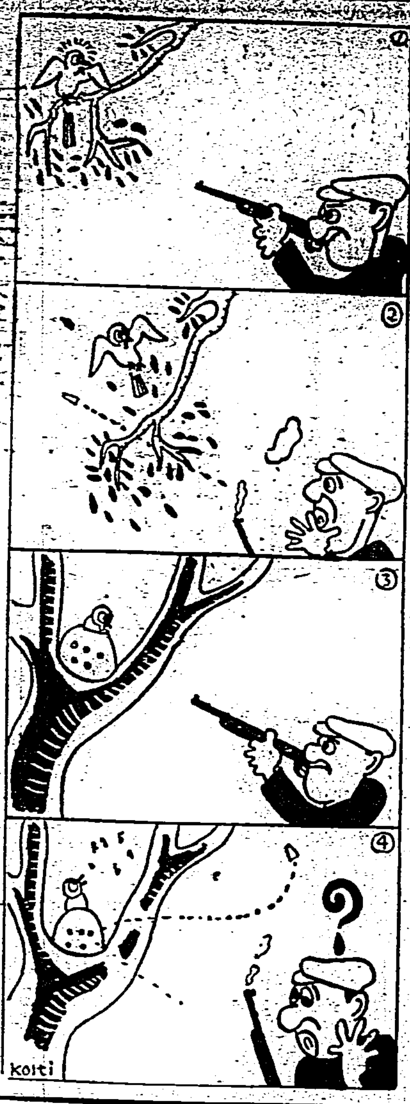
涙こぼし笑顔つくり
嘘をついて救すばかり
ブラッセル劇場で唱ふ支那テナー
聽衆は果して拍手喝采するや

三國防共協定ここにもあり
「何ですか、肩ばらつて赤い顔して——」
「いや　誰にも入れませんやネ！」



銃後の護衛々堅し
「おい　あの奥樣の居る家は防諜網を張つたぜ」
「？……」

悠久長期抗戰
「ホホ　娘子軍　みんな子供生れるあるな　我が軍これで　人數多くなる　嬉しいある」



狩獵の秋
（１）「良き獲物御座んなれ」ドカン！
（２）「たはつ　やり損んじた」
（３）「いでや　今度こそは　一網打盡に」
（４）ドカン…ピーン　「てへつトーチカ張の巣か？」

事変に處する女性の覚悟　大藏大臣　賀屋興宣

新しき婦人の職業と任務……宮本百合子

★戰ひの詩（心の貢ぎ物に）　森山啓

背後の力（僕の頁）中島健藏作　口共に働くよろこび

本日發賣

婦人公論 十二月号

この一号で今年ともお別れ！多岐多端、息をつく暇もなかつたこの一年を回顧してやつぱりなつかしい微笑がこぼれます。逝くものをして逝かしめよ！さうだ、吾々にあるものはよりよき明日への前進のみだ！さあ行かう！我等の伴侶―婦人公論と共に―より高い文化と生活への歌を唄ひながら―！

恭助の手紙

上海戰線クリーク敵前渡河の決死隊に加はり、名譽の戰死を遂げた友田恭助氏を偲ぶ夫人田村秋子さんの涙の手記

兵火は最も多くの勇士の精華を加へまつた。彼等はたゞ君國を思ふ一念の外になく、帝國萬歳の絶叫を最後に從容として死についた。その勇士の一人に我等の友田恭助伍長の姿を見送ることは出來ない。彼は舞臺で演じたそのまゝの熱情をもつて、戰爭と云ふ大舞臺にその最後を飾つたのだ。

田村秋子

上海戰線　カメラ・コント

ピーターパン物語　秋田雨雀

若き未亡人の問題

若き未亡人に與ふ　菊池寛

若き未亡人に寄して　河崎なつ

柩を迎へる日　岩倉綾子

一管の繪筆に報國の熱意に燃えたら上海戰線に散れる岩倉画伯

口天日を仰いで
口男は戰ひ女は働く
口戰爭と家事
口時事總評

★都下女學生の誘惑被害調査報告書……

女學生と誘惑被害　前保道協会主事　岡田實

口銃後の農村を行く（働手の父を兄を良人を戦場に送つたあとの農村其處に見受けられる健氣な女性の姿！）　丸岡秀子

口女の魅力―（形か心か、魅力は間斷なく移行する!!）―長谷川春子

口歳末家庭經濟をどうすべきか……野田豊

中國當然の急務

（當代支那三女傑の一人孫文未亡人が抗日救國の一文を雜誌アジアに寄稿したもの）

孫文未亡人・宋美齢実姉　宋慶齢

喰ふために僕は盗みをした

文豪トルストイ孫　ジャン・トルストイ

情熱の音詩人・シューマンの藝術と生涯

野村胡堂

クララの子　ランデヴー追撃

サトウ・ハチロー

モンツェニー女史の私生児論　久野豊彦

犠牲になる妻

毆られた林長二郎の妻の手記　長谷川村子

讀切傑作小説　長き悪夢　大田洋子

特輯　世界の動き

大陸は女性を欲してゐる（今や黎明のさしそめし北支・新しき天地を求めて女性の進出をこそ！）　三宅晴輝

英・米は日本をどう思つてゐるか……米田實

獨・伊は日本をどう思つてゐるか……長谷川了

佛・ソは日本をどう思つてゐるか……中山貞雄

口冬の健康には先づ風邪の豫防を……宇賀田爲吉

口婦人に必要な電氣の知識

口冬を暖かく過す下着四種の作り方……高木とみ子

口續・一皿十錢以内で出來るお惣菜

口冬の洋裝の保温法……伊東茂平

戀の千一夜物語　美女を生んだ佛像の話　龍膽寺雄

★男性の美は移る……聖林の新星タイロン・パワア　藤井田鶴子

南風　美しき五月となれば　林芙美子

練獄聖爭　林房雄

里見弴

笑ふ戀人　尾崎士郎

流行歌手　長田幹彦

牧歌　川端康成

墓碑銘　去りゆく青春

口さらば青春よ…美川きよ

口青春はなかつた…芹澤光治良

口メモランダム…阿部艶子

雪夜物語

☆聰耳草子…坪田讓治

冬ものがたり…野上彌生子

死を失つた男…上田進

おとなしい百姓…井伏鱒二

特輯實話　忘れ得ぬ感激

口子供に神を教へられる　口廣東引揚げの日　口一莖の小草にこもる老婆の赤誠　口従妹U子さんの純情！　口東北の寒村にて　口驛頭の感激　口ほんとの日本女性　口貧父の眞情と童心　口八百波の息子

☆人間は感激の一事によつて魂の高揚と生活の充實をのみ知る

蓄められた九篇の物語りに、それぞれ貴女の心を汲んで下さい!!

定價50錢

東京驛前丸ビル五階　振替東京三四番　中央公論社發行

森永ミルク

臺灣日日　ハイキングコース（臺北近郊）

一冊金一圓

發行所　臺灣日日新報社

ぞくの病毒　たい毒ない毒

毒掃丸